

平成 25 年度

阪南 2 区整備事業に係る環境調査

海域環境調査

月報（2 月分）



株式会社 環境総合テクノス
THE GENERAL ENVIRONMENTAL TECHNOS CO., LTD.

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査日および調査内容	1
3. 調査場所	1
4. 調査結果	4
4-1 水質調査結果	4
4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較	4
4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較	11
4-2 底質調査結果	23
4-3 水生生物調査結果	27
4-3-1 植物プランクトン調査結果	27
4-3-2 動物プランクトン調査結果	27
4-3-3 底生生物調査結果	27
4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果	28
4-3-5 付着生物調査結果	29
4-3-6 漁獲対象動植物調査結果	31

1. 調査目的

本調査は、阪南2区整備事業において、埋立工事が周辺海域に及ぼす影響を監視することを目的とする。

2. 調査日および調査内容

調査日および調査内容を表2に示す。

表2 調査日および調査内容

調査日	水質調査		底質調査	水生生物調査	調査内容
	定点監視	補助監視			
2月3日			○	○	底質・底生生物、魚卵・稚仔魚
2月5日		○		○	現場機器測定(水温、pH、塩分、DO、濁度) 漁獲対象動植物(刺し網設置)
2月6日				○	漁獲対象動植物(刺し網回収、底引網の曳網)、 付着生物
2月10日	○	○		○	採水・分析及び現場機器測定 (水温、pH、塩分、DO、濁度、流向・流速) 植物プランクトン、動物プランクトン
2月19日		○			現場機器測定(水温、pH、塩分、DO、濁度)
2月26日		○			現場機器測定(水温、pH、塩分、DO、濁度)

3. 調査場所

岸和田市岸之浦町地先の阪南2区周辺海域において、水質の定点監視はSt. 1～St. 4の4地点、補助監視は護岸開口部のSt. S-1、St. S-2の2地点およびバックグラウンドを把握するためSt. B-1～St. B-3の3地点で行った。

底質の調査はSt. 1～St. 4の4地点、水生生物の動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物はSt. 1～St. 4の4地点、付着生物はSt. A、St. Bの2地点、漁獲対象動植物はSt. イの1地点で行った。

調査地点の緯度、経度を表3に、調査地点を図3に示す。

表3 調査位置と調査内容

調査位置			水質調査		底質調査	水生生物調査		
地点名	位置		定点監視	補助監視		動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物	付着生物	漁獲対象動植物
	北緯	東経						
St. 1	34° 28' 57"	135° 20' 57"	○		○	○		
St. 2	34° 28' 02"	135° 20' 42"	○		○	○		
St. 3	34° 29' 12"	135° 21' 43"	○		○	○		
St. 4	34° 28' 02"	135° 21' 22"	○		○	○		
St. S-1	34° 29' 15"	135° 21' 21"		○				
St. S-2	34° 28' 14"	135° 20' 46"		○				
St. B-1	34° 29' 50"	135° 21' 11"		○				
St. B-2	34° 28' 57"	135° 20' 31"		○				
St. B-3	34° 27' 18"	135° 20' 55"		○				
St. A	34° 28' 31"	135° 20' 55"					○	
St. B	34° 28' 14"	135° 21' 27"					○	
St. イ	34° 29' 05"	135° 20' 52"						○

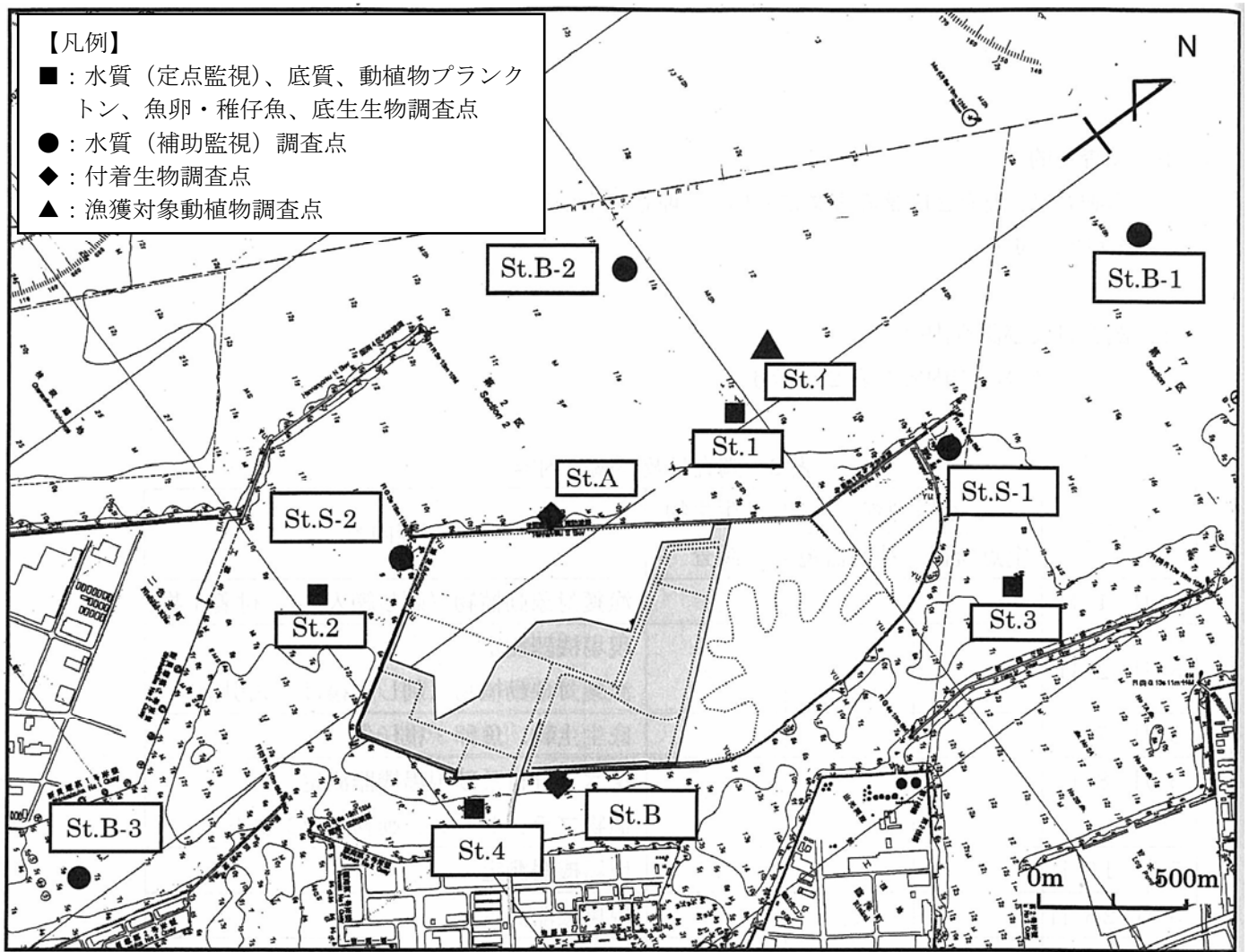


図3 調査地点

4. 調査結果

4-1 水質調査結果

4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較

水質調査結果を表4-1-1-1～表4-1-1-2、現場機器測定結果を表4-1-1-1-3、定点監視野帳を表4-1-1-4に示す。また、環境基準との比較を表4-1-1-5～表4-1-1-6に示す。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

1) 調査地点の概況

阪南2区の北側、阪南港第1区の窪地で浚渫土砂投入作業を実施していた。

2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

3) 採水分析項目

SSは、St.4の下層においてやや高い値がみられた。

VSSは、St.4の下層においてやや高い値がみられた。

CODは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全窒素は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全リンは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

クロロフィルaは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

「人の健康の保護に関する環境基準」項目の結果は、全項目において報告下限値未満であり、環境基準に適合していた。

特殊項目の結果は、亜鉛を除いて報告下限値未満であった。

表4-1-1-1 水質調査結果(定点監視)

調査年月日：平成26年2月10日

項目\地点番号		1	2	3	4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:38	11:21	10:00	11:51				
水温 (°C)	上層	9.4	9.1	9.5	9.0	9.0	～	9.5	9.3
	下層	9.7	9.4	9.9	9.2	9.2	～	9.9	9.6
塩分	上層	31.7	31.3	31.5	31.1	31.1	～	31.7	31.4
	下層	31.8	31.6	31.8	31.5	31.5	～	31.8	31.7
濁度 (カサ)	上層	2	2	2	2	2	～	2	2
	下層	2	2	2	3	2	～	3	2
pH	上層	8.2	8.3	8.2	8.3	8.2	～	8.3	-
	下層	8.2	8.2	8.2	8.3	8.2	～	8.3	-
SS (mg/L)	上層	3	3	3	3	3	～	3	3
	下層	2	3	2	5	2	～	5	3
VSS (mg/L)	上層	3	3	3	3	3	～	3	3
	下層	2	3	2	5	2	～	5	3
COD (mg/L)	上層	1.3	1.7	1.7	1.7	1.3	～	1.7	1.6
	下層	1.4	1.5	1.5	1.7	1.4	～	1.7	1.5
DO (mg/L)	上層	9.2	10	9.6	10	9.2	～	10.0	9.7
	下層	8.7	8.9	8.4	9.8	8.4	～	9.8	9.0
全窒素 (mg/L)	上層	0.17	0.15	0.20	0.20	0.15	～	0.20	0.18
	下層	0.19	0.19	0.22	0.18	0.18	～	0.22	0.20
全リン (mg/L)	上層	0.014	0.014	0.013	0.012	0.012	～	0.014	0.013
	下層	0.016	0.014	0.016	0.013	0.013	～	0.016	0.015
クロロフィルa (μg/L)	上層	5.5	4.7	5.8	4.1	4.1	～	5.8	5.0
	下層	4.3	6.2	3.9	7.2	3.9	～	7.2	5.4

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表4-1-1-2 水質調査結果（健康項目等）

調査年月日：平成26年2月10日

項目\調査地点	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
カドミウム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	mg/L	0.008	0.007	0.0	0.0
溶解性鉄	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5

表 4-1-1-3 現場機器測定結果

調査年月日：平成26年2月10日

調査地点		1					
時刻		10:38					
水深(m)		12.2					
項目	水温	塩分	pH	DO	DO	濁度	
層(m)	(°C)	(-)		(mg/L)	(%)	(度(ナトリ))	
0.5	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
1.0	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
2.0	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
3.0	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
4.0	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
5.0	9.4	31.7	8.2	9.2	99	2	
6.0	9.5	31.7	8.2	9.1	98	2	
7.0	9.6	31.7	8.2	8.9	96	2	
8.0	9.6	31.8	8.2	8.8	95	2	
9.0	9.7	31.8	8.2	8.7	94	2	
10.0	9.7	31.8	8.2	8.7	94	3	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	9.7	31.8	8.2	8.7	94	2	
B-1.0	9.7	31.8	8.2	8.7	94	2	
B-0.5	9.7	31.8	8.2	8.7	94	2	

調査地点		2					
時刻		11:21					
水深(m)		13.6					
項目	水温	塩分	pH	DO	DO	濁度	
層(m)	(°C)	(-)		(mg/L)	(%)	(度(ナトリ))	
0.5	9.1	31.3	8.3	10	108	2	
1.0	9.1	31.3	8.3	10	109	2	
2.0	9.1	31.3	8.3	10	108	2	
3.0	9.1	31.3	8.3	10	108	2	
4.0	9.1	31.3	8.3	10	108	2	
5.0	9.2	31.4	8.3	10	108	2	
6.0	9.3	31.5	8.2	9.8	105	2	
7.0	9.4	31.6	8.2	9.7	104	2	
8.0	9.4	31.6	8.2	9.4	101	2	
9.0	9.4	31.6	8.2	9.2	99	2	
10.0	9.4	31.6	8.2	9.1	98	2	
11.0	9.3	31.6	8.2	9.1	98	2	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	9.4	31.6	8.2	8.9	96	2	
B-1.0	9.5	31.7	8.2	8.7	94	2	
B-0.5	9.5	31.7	8.2	8.7	94	2	

調査地点		3					
時刻		10:00					
水深(m)		8.3					
項目	水温	塩分	pH	DO	DO	濁度	
層(m)	(°C)	(-)		(mg/L)	(%)	(度(ナトリ))	
0.5	9.4	31.5	8.3	9.7	104	2	
1.0	9.5	31.5	8.2	9.6	103	2	
2.0	9.5	31.6	8.2	9.4	101	2	
3.0	9.6	31.6	8.2	9.0	97	2	
4.0	9.7	31.7	8.2	8.8	95	2	
5.0	9.7	31.7	8.2	8.8	95	2	
6.0	9.8	31.8	8.2	8.5	92	2	
7.0	-	-	-	-	-	-	
8.0	-	-	-	-	-	-	
9.0	-	-	-	-	-	-	
10.0	-	-	-	-	-	-	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	9.9	31.8	8.2	8.4	91	2	
B-1.0	9.9	31.8	8.2	8.4	91	2	
B-0.5	9.9	31.8	8.2	8.4	91	2	

調査地点		4					
時刻		11:51					
水深(m)		11.4					
項目	水温	塩分	pH	DO	DO	濁度	
層(m)	(°C)	(-)		(mg/L)	(%)	(度(ナトリ))	
0.5	8.9	31.0	8.3	10	110	2	
1.0	9.0	31.1	8.3	10	110	2	
2.0	9.0	31.1	8.3	10	109	2	
3.0	9.0	31.1	8.3	10	109	2	
4.0	9.1	31.3	8.3	10	109	2	
5.0	9.2	31.4	8.3	10	108	2	
6.0	9.2	31.4	8.3	10	107	3	
7.0	9.2	31.4	8.3	10	107	3	
8.0	9.2	31.5	8.3	9.9	106	3	
9.0	9.2	31.5	8.3	9.9	106	3	
10.0	-	-	-	-	-	-	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	9.2	31.5	8.3	9.8	105	3	
B-1.0	9.2	31.5	8.3	9.7	104	4	
B-0.5	9.2	31.5	8.2	9.7	104	4	

表 4-1-1-4 定点監視野帳

項目	層	調査地点			
		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査日		2月10日	2月10日	2月10日	2月10日
調査開始時刻		10:38	11:21	10:00	11:51
天気・雲量		曇・10	曇・10	曇・10	曇・10
風向・風力		NNE・3	NNE・3	NE・2	NNE・3
風浪階級		3	3	1	3
気温	°C	5.5	5.5	5.5	5.5
水深	m	12.2	13.6	8.3	11.4
透明度	m	4.6	3.6	4.3	4.2
水色 (マンセル値)		graysh olive green (5GY3/3)	graysh olive green (5GY3/3)	graysh olive green (5GY3/3)	graysh olive green (5GY3/3)
赤潮の有無		無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無
水温	°C 上	9.4	9.1	9.5	9.0
	下	9.7	9.4	9.9	9.2
透視度	度 上	>50	>50	>50	>50
	下	>50	>50	>50	>50
流速	cm/sec 上	19.2	11.1	14.3	20.1
	下	17.2	12.6	6.3	12.9
流向	(°) 上	281	119	312	196
	下	147	139	168	303

注：測定層は、上層は海面下1.0m、下層は海底上2.0m。

表4-1-1-5 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日 : 平成26年2月10日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注)}
pH	上層	○	○	○	○	7.0以上8.3以下
	下層	○	○	○	○	
COD	上層	○	○	○	○	8mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
DO	上層	○	○	○	○	2mg/L 以上
	下層	○	○	○	○	
全窒素	上層	○	○	○	○	1mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
全リン	上層	○	○	○	○	0.09mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	

備考) ○ : 基準内 × : 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型、IV類型に該当。

表 4-1-1-6 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日 : 平成26年2月10日

項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注1)}
カドミウム	○	○	○	○	0.003mg/L以下
全シアン	○	○	○	○	検出されないこと ^{注2)}
鉛	○	○	○	○	0.01mg/L以下
六価クロム	○	○	○	○	0.05mg/L以下
砒素	○	○	○	○	0.01mg/L以下
総水銀	○	○	○	○	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	○	○	○	○	検出されないこと
PCB	○	○	○	○	検出されないこと
ジクロロメタン	○	○	○	○	0.02mg/L以下
四塩化炭素	○	○	○	○	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	○	○	○	○	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエレン	○	○	○	○	0.1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエレン	○	○	○	○	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	○	○	○	○	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	○	○	○	○	0.006mg/L以下
トリクロロエレン	○	○	○	○	0.03mg/L以下
テトラクロロエレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	0.002mg/L以下
チウラム	○	○	○	○	0.006mg/L以下
シマジン	○	○	○	○	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	○	○	○	○	0.02mg/L以下
ベンゼン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
セレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
硝酸性窒素	○	○	○	○	10mg/L以下
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	

備考) ○ : 基準内 × : 基準外

注 1) 環境基準値は「人の健康の保護に関する環境基準」による。

注 2) 「検出されないこと」とは、分析方法に掲げる方法により分析した場合において、その結果が当該方法の定量下限値を下回ることをいう。

4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較

水質調査結果を表4-1-2-1～表4-1-2-4、補助監視野帳を表4-1-2-5～表4-1-2-8に示す。また、環境基準との比較を表4-1-2-9、監視基準との比較を表4-1-2-10に示す。

なお、護岸開口部のSt. S-1とSt. S-2における濁度の監視基準は、バックグラウンドの最低値との差が上層は+3度（カオリン）未満、下層は+11度（カオリン）未満としている。

・ 2月5日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられず、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

2月10日

1) 調査地点の概況

阪南2区の北側、阪南港第1区の窪地で浚渫土砂投入作業を実施していた。

2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられず、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

3) 採水分析項目

SSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 2月19日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられず、護岸開口部で監視基準値を超える

濁りはみられなかった。

・ 2月26日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられず、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

表4-1-2-1 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 平成26年2月5日

項目\地点番号		S-1	S-2	最小値	～	最大値	B-1	B-2	B-3	平均値	
調査時刻		10 : 17	10 : 03	—			09 : 36	09 : 48	09 : 56	—	
水温 (℃)	上層	10.3	10.1	10.1	～	10.3	10.2	10.2	10.2	10.2	
	下層	10.3	10.1	10.1	～	10.3	10.3	10.2	10.2	10.2	
塩分	上層	31.7	31.6	31.6	～	31.7	31.6	31.6	31.7	31.6	
	下層	31.7	31.7	31.7	～	31.7	31.6	31.6	31.7	31.6	
濁度 (カサ)	上層	2	2	2	～	2	2	2	2	2	
	下層	2	2	2	～	2	2	2	2	2	
pH	上層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.3	—	
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—	
備考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表4-1-2-2 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 平成26年2月10日

項目\地点番号		S-1	S-2	最小値	～	最大値	B-1	B-2	B-3	平均値	
調査時刻		09 : 35	09 : 23	—			08 : 48	08 : 59	09 : 12	—	
水温 (°C)	上層	9.1	9.2	9.1	～	9.2	9.4	9.4	9.1	9.3	
	下層	9.8	8.9	8.9	～	9.8	9.8	9.7	9.1	9.5	
塩分	上層	31.5	31.5	31.5	～	31.5	31.6	31.7	31.5	31.6	
	下層	31.8	31.5	31.5	～	31.8	31.8	31.8	31.5	31.7	
濁度 (カリン)	上層	2	2	2	～	2	2	2	2	2	
	下層	2	2	2	～	2	2	3	2	2	
pH	上層	8.2	8.3	8.2	～	8.3	8.2	8.2	8.3	—	
	下層	8.2	8.3	8.2	～	8.3	8.2	8.2	8.3	—	
SS(mg/L)	上層	2	2	2	～	2	2	2	3	2	
	下層	2	2	2	～	2	2	3	3	3	
VSS(mg/L)	上層	2	2	2	～	2	2	2	3	2	
	下層	2	2	2	～	2	2	3	3	3	
備考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表4-1-2-3 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 平成26年2月19日

項目\地点番号		S-1	S-2	最小値	～	最大値	B-1	B-2	B-3	平均値	
調査時刻		09 : 42	09 : 30	—			09 : 03	09 : 12	09 : 22	—	
水温 (℃)	上層	8.6	8.4	8.4	～	8.6	8.8	9.0	8.2	8.7	
	下層	9.3	8.7	8.7	～	9.3	9.3	9.2	8.2	8.9	
塩分	上層	31.4	31.4	31.4	～	31.4	31.7	31.8	31.2	31.6	
	下層	32.0	31.7	31.7	～	32.0	32.0	32.0	31.2	31.7	
濁度 (カサ)	上層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1	
	下層	1	<1	<1	～	1	<1	1	<1	1	
pH	上層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.4	—	
	下層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.4	—	
備 考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表4-1-2-4 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 平成26年2月26日

項目\地点番号		S-1	S-2	最小値	～	最大値	B-1	B-2	B-3	平均値	
調査時刻		09 : 37	09 : 27	—			09 : 00	09 : 10	09 : 20	—	
水温 (℃)	上層	9.1	9.8	9.1	～	9.8	9.5	9.1	9.3	9.3	
	下層	9.5	9.4	9.4	～	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4	
塩分	上層	31.7	31.4	31.4	～	31.7	31.7	31.0	31.2	31.3	
	下層	32.1	32.0	32.0	～	32.1	32.2	32.2	32.0	32.1	
濁度 (カサ)	上層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1	
	下層	<1	<1	<1	～	<1	<1	1	1	1	
pH	上層	8.4	8.5	8.4	～	8.5	8.4	8.5	8.5	—	
	下層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.4	—	
備 考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表 4-1-2-5 補助監視野帳

平成26年2月5日

調査地点	S-1	S-2	B-1	B-2	B-3	
調査開始時刻	10 : 17	10 : 03	09 : 36	09 : 48	09 : 56	
天気・雲量	晴・5	晴・5	晴・5	晴・5	晴・5	
風向・風力	NNW・4	NNW・4	NW・4	NW・4	NW・3	
風浪階級	3	2	3	3	2	
気温(℃)	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	
水深(m)	11.0	10.9	13.2	13.5	7.8	
透明度(m)	4.6	5.0	4.5	4.0	4.2	
水色	dark green	dark green	dark green	dark green	dark green	
(マンセル値)	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温(℃)	上層	10.3	10.1	10.2	10.2	10.2
	下層	10.3	10.1	10.3	10.2	10.2
pH	上層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.3
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分	上層	31.7	31.6	31.6	31.6	31.7
	下層	31.7	31.7	31.6	31.6	31.7
DO (mg/L)	上層	9.2	9.2	9.1	9.4	9.7
	下層	9.2	9.5	9.0	9.2	9.8
DO飽和度 (%)	上層	101	101	100	103	106
	下層	101	104	99	101	107
濁度 度(カリン)	上層	2	2	2	2	2
	下層	2	2	2	2	2
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		2
	下層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		2

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満(<1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表4-1-2-6 補助監視野帳

平成26年2月10日

調査地点	S-1	S-2	B-1	B-2	B-3	
調査開始時刻	09 : 35	09 : 23	08 : 48	08 : 59	09 : 12	
天気・雲量	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	
風向・風力	NE ・ 2	NE ・ 2	NE ・ 2	NE ・ 2	NE ・ 2	
風浪階級	1	1	1	1	1	
気温 (°C)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
水深 (m)	10.5	10.3	13.1	13.4	7.2	
透明度 (m)	4.5	4.6	4.3	4.6	4.5	
水色	grayish olive green	grayish olive green	grayish olive green	grayish olive green	grayish olive green	
(マンセル値)	5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温 (°C)	上層	9.1	9.2	9.4	9.4	9.1
	下層	9.8	8.9	9.8	9.7	9.1
pH	上層	8.2	8.3	8.2	8.2	8.3
	下層	8.2	8.3	8.2	8.2	8.3
塩分	上層	31.5	31.5	31.6	31.7	31.5
	下層	31.8	31.5	31.8	31.8	31.5
DO (mg/L)	上層	8.9	9.7	9.0	9.0	9.9
	下層	8.4	9.8	8.6	8.7	9.8
DO飽和度 (%)	上層	95	104	97	97	106
	下層	91	104	93	94	105
濁度 度(カリン)	上層	2	2	2	2	2
	下層	2	2	2	3	2
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		2
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		2

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-7 補助監視野帳

平成26年2月19日

調査地点	S-1	S-2	B-1	B-2	B-3	
調査開始時刻	09 : 42	09 : 30	09 : 03	09 : 12	09 : 22	
天気・雲量	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	曇 ・ 10	
風向・風力	NNE ・ 4	N ・ 4	NNE ・ 4	N ・ 4	N ・ 3	
風浪階級	3	3	3	3	2	
気温 (°C)	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	
水深 (m)	11.6	11.2	13.5	13.5	8.5	
透明度 (m)	5.2	5.2	5.5	5.5	4.9	
水色	deep bluish green	dark blue green	deep bluish green	deep bluish green	dark green	
(マンセル値)	10G3/7	5BG2.4/3	10G3/7	10G3/7	5G2.4/3	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温 (°C)	上層	8.6	8.4	8.8	9.0	8.2
	下層	9.3	8.7	9.3	9.2	8.2
pH	上層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4
	下層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4
塩分	上層	31.4	31.4	31.7	31.8	31.2
	下層	32.0	31.7	32.0	32.0	31.2
DO (mg/L)	上層	9.0	9.3	8.8	8.8	9.4
	下層	8.8	9.1	9.2	9.1	9.6
DO飽和度 (%)	上層	95	98	93	94	98
	下層	95	96	99	98	100
濁度 度(カリン)	上層	<1	<1	<1	<1	<1
	下層	1	<1	<1	1	<1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		<1
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		<1

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-8 補助監視野帳

平成26年2月26日

調査地点	S-1	S-2	B-1	B-2	B-3	
調査開始時刻	09 : 37	09 : 27	09 : 00	09 : 10	09 : 20	
天気・雲量	晴・4	晴・4	晴・4	晴・4	晴・3	
風向・風力	ENE・3	E・3	E・3	E・3	NE・3	
風浪階級	1	1	1	1	1	
気温(℃)	7.7	7.4	7.9	7.5	7.9	
水深(m)	11.1	10.4	13.2	13.4	7.2	
透明度(m)	4.3	3.8	3.9	3.9	4.2	
水色	dark green	dark green	dark green	dark green	dark green	
(マンセル値)	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	5G2.4/3	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温(℃)	上層	9.1	9.8	9.5	9.1	9.3
	下層	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4
pH	上層	8.4	8.5	8.4	8.5	8.5
	下層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4
塩分	上層	31.7	31.4	31.7	31.0	31.2
	下層	32.1	32.0	32.2	32.2	32.0
DO (mg/L)	上層	9.4	10	9.8	10	10
	下層	8.9	9.2	8.8	8.9	8.9
DO飽和度 (%)	上層	101	115	106	110	110
	下層	96	99	95	96	96
濁度 度(カリン)	上層	<1	<1	<1	<1	<1
	下層	<1	<1	<1	1	1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		<1
	下層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		<1

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満(<1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-9 補助監視調査結果の環境基準との比較

調査日	項目\地点番号		S-1	S-2	B-1	B-2	B-3
2月5日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月10日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月19日	pH	上層	×	×	×	×	×
		下層	×	×	×	×	×
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月26日	pH	上層	×	×	×	×	×
		下層	×	×	×	×	×
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域は C 類型、IV 類型に該当。

pH : 7.0 以上 8.3 以下 DO : 2 mg/L 以上

表 4-1-2-10 補助監視点の濁度(バックグラウンド値との差)

調査日	項目\地点番号	S-1	評価	S-2	評価	バックグラウンド(BG)値
2月5日	上層	0	○	0	○	2
	下層	0	○	0	○	2
2月10日	上層	0	○	0	○	2
	下層	0	○	0	○	2
2月19日	上層	0	○	0	○	<1
	下層	0	○	0	○	<1
2月26日	上層	0	○	0	○	<1
	下層	0	○	0	○	<1

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 濁度 (BG との差) の計算は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

4-2 底質調査結果

底質調査結果のうち、含有試験の結果を表4-2-1、溶出試験の結果を表4-2-2に示す。

粒度組成の結果は、St. 3は砂分が高く、St. 2、St. 4はシルト分および粘土分が高い土質であり、St. 1は砂分・礫分とシルト分・粘土分が同程度の土質であった。

その他の項目では、特に高い値はみられなかった。

水底土砂に係る判定基準項目の分析結果は、全地点でフッ化物以外の項目において報告下限値未満であり、フッ化物を含めて水底土砂の判定基準未満であった

表4-2-1 底質（含有試験）調査結果

調査年月日：平成26年2月3日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:15	11:08	9:20	11:55	—		—	
粒度組成 (%)	粗礫分 (19~75mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	～	0.0	0.0
	中礫分 (4.75~19mm)	1.2	1.2	1.7	1.2	1.2	～	1.7	1.3
	細礫分 (2.00~4.75mm)	6.1	3.3	11.6	5.3	3.3	～	11.6	6.6
	粗砂分 (0.850~2.00mm)	8.5	2.9	12.4	3.2	2.9	～	12.4	6.8
	中砂分 (0.250~0.850mm)	18.3	5.9	41.8	4.9	4.9	～	41.8	17.7
	細砂分 (0.075~0.250mm)	15.4	8.4	23.0	4.4	4.4	～	23.0	12.8
	シルト分 (0.005~0.075mm)	24.7	26.7	3.7	24.6	3.7	～	26.7	19.9
粘土分 (0.005mm以下)		25.8	51.6	5.8	56.4	5.8	～	56.4	34.9
COD (mg/g 乾泥)		7.3	17	3.1	26	3.1	～	26.0	13
全硫化物 (mg/g 乾泥)		0.13	0.50	0.04	0.82	0.04	～	0.82	0.37
全窒素 (mg/g 乾泥)		0.82	2.0	0.32	2.4	0.32	～	2.4	1.4
全リン (mg/g 乾泥)		0.20	0.34	0.12	0.44	0.12	～	0.44	0.28
強熱減量 (%)		2.9	8.0	1.8	9.2	1.8	～	9.2	5.5
含水率 (%)		46.7	66.2	23.2	71.2	23.2	～	71.2	51.8
pH		7.4	7.5	7.6	7.7	7.4	～	7.7	7.6
総水銀 (mg/kg)		0.10	0.05	0.03	0.08	0.03	～	0.10	0.07
PCB (mg/kg)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
有機塩素化合物 (mg/kg)		<4	<4	<4	<4	<4	～	<4	<4
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/g)		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5
酸化還元電位 (mV)		61	-91	190	-165	-165	～	190	-1

注1) 酸化還元電位の値は、標準水素電極の値に換算したものである。

表4-2-2 底質（溶出試験）調査結果

調査年月日：平成26年2月3日

項目\地点番号	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
六価クロム化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
PCB	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
銅又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
フッ化物	mg/L	0.3	0.4	0.1	0.4
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
クロム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

表 4 - 2 - 3 底質調査野帳

調査年月日：平成26年2月3日

調査点	1	2	3	4
調査開始時刻	10:15	11:08	9:20	11:55
天気・雲量	雲 ・ 10	雲 ・ 10	雲 ・ 10	雲 ・ 10
風向・風力	WSW ・ 1	- ・ 0	- ・ 0	N ・ 1
風浪階級	1	0	0	1
気温 (°C)	12.2	11.8	9.9	11.9
水深 (m)	13.3	14.4	9.6	14.0
臭 気	微硫化水素臭	弱硫化水素集	無	強硫化水素臭
泥温 (°C)	11.3	11.3	10.9	11.3
性 状	砂混じりシルト	礫混じりシルト	礫混じり砂	シルト
泥 色	olive black	olive black	olive black	greenish black
	10Y3/1	10G3/2	7.5Y3/2	10GY2/1
夾 雑 物	貝殻片	貝殻片	貝殻片	貝殻片
ORP (mV)	61	-91	190	-165
特記事項				

4-3 水生生物調査結果

4-3-1 植物プランクトン調査結果

植物プランクトン調査結果の概要を表4-3-1-1、出現種一覧表を表4-3-1-2、出現種ごとの細胞数を表4-3-1-3、水平分布を図4-3-1に示す。

上層の種類数は16~22種類の範囲にあり、St. 1で最も多かった。総種類数は30種類であった。下層の種類数は17~22種類の範囲にあり、St. 2で最も多かった。総種類数は35種類であった。

上層の細胞数は273,120~1,915,840細胞/Lの範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均細胞数は1,005,400細胞/Lであった。下層の細胞数は315,760~1,981,120細胞/Lの範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均細胞数は892,840細胞/Lであった。

上層の沈殿量は0.10~0.10mL/Lの範囲にあった。下層の沈殿量は0.10~0.20mL/Lの範囲にあった。

主要種は各調査点の上層、下層ともに珪藻綱の *Skeletonema costatum* (スケルトネ コスタム) であり、全地点平均で *Skeletonema costatum* (スケルトネ コスタム) が上層で95.2%、下層で97.1%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-2 動物プランクトン調査結果

動物プランクトン調査結果の概要を表4-3-2-1、出現種一覧表を表4-3-2-2、出現種ごとの個体数を表4-3-2-3、水平分布を図4-3-2に示す。

種類数は20~22種類の範囲にあり、St. 2とSt. 4で最も多かった。総種類数は29種類であった。

個体数は9,031~14,235個体/m³の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均個体数は11,043個体/m³であった。

沈殿量は6.7~9.2mL/m³の範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均沈殿量は8.0mL/m³であった。

主要種は各調査点では、節足動物門の *Paracalanus* sp. (パラカラス属)、軟体動物門の *umbo Larva of Bivalvia* (ニカイ綱の殻頂期幼生) であり、全地点平均で *Paracalanus* sp. (パラカラス属) が23.3%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-3 底生生物調査結果

底生生物調査結果の概要を表4-3-3-1、出現種一覧表を表4-3-3-2、出現種ごとの個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-3-3、表4-3-3-4、水平分布を図4-3-3に示す。

種類数は0～28種類の範囲にあり、St. 3で最も多かった。総種類数は30種類であった。

個体数は0～676個体/0.1m²の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均個体数は198個体/0.1m²であった。

湿重量は0.00～9.44g/0.1m²の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均湿重量は3.52g/0.1m²であった。

主要種は、環形動物門の *Paraprionospio* sp. (A型) (ハラブリスピオ属(A型)) が多く出現し、*Paraprionospio* sp. (A型)は全体平均個体数の82.9%を占めた。

Paraprionospio sp.は強内湾性の有機汚染指標種であり、湾奥部の中・富栄養となっている泥底に生息している種である。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果

魚卵調査結果の概要を表4-3-4-1、出現種一覧を表4-3-4-2、出現種ごとの個数を表4-3-4-3、水平分布を図4-3-4-1に示す。

また、稚仔魚調査結果の概要を表4-3-4-4、出現種一覧を表4-3-4-5、出現種ごとの個数を表4-3-4-6、水平分布を図4-3-4-2に示す。

4-3-4-1 魚卵

出現しなかった。

4-3-4-2 稚仔魚

種類数は1～3種類の範囲にあり、総種類数は3種類であった。

個体数は5～311個体/1,000m³の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均個体数は128個体/1,000m³であった。

主要種は各調査点ともカサゴであり、全地点の平均個体数で98.4%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-5 付着生物調査結果

ベルトトランセクト法による付着生物出現種一覧を表4-3-5-1、付着生物(植物)の藻長測定結果を表4-3-5-2、調査測点断面模様を図4-3-5-1、主な付着生物の鉛直分布を図4-3-5-2に示す。

坪刈り法による付着生物(植物)調査結果の概要を表4-3-5-3、出現種一覧を表4-3-5-4、出現種ごとの湿重量を表4-3-5-5に示す。また、付着生物(動物)調査結果の概要を表4-3-5-6、出現種一覧を表4-3-5-7、出現種ごとの個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-5-8、表4-3-5-9に示す。

4-3-5-1 調査地点概要

調査地点は阪南港阪南2区内にある防波堤に位置する。St.Aはコンクリートケーソンで、海底付近は砂泥底であった。海底付近では、貝の死骸が堆積していた。St.Bは捨て石式傾斜堤で上部は被覆石が積まれている。海底付近では砂泥が堆積していた。

4-3-5-2 ベルトトランセクト法(目視観察)

① 植物

St.Aでは、平均水面付近から水深3mにかけてイトグサ属が、水深3mから5.5mにかけてイギス科が、水深3.5m以深にタオヤギソウが生息し、混生していた。

St.Bでは、平均水面付近から水深7mにかけてイトグサ属が広範囲に生息し、水深1mから水深6mにマクサが生息し、混生していた。

② 動物

St.Aでは、平均水面付近にアラレタマキビガイ、タマキビガイが分布していた。平均水面付近以深の広範囲にカンザシゴカイ科、イボニシが分布していた。平均水面付近から水深5.5mにかけて群体性ホヤ類と普通海面綱が、水深0.5m以深の広範囲に泥巢が分布していた。

St.Bでは、平均水面付近以深の広範囲にカンザシゴカイ科が、水深1m以深の広範囲にイトマキヒトデとサンカクフジツボが、水深1.5m以深の広範囲にコシタカガンガラが分布していた。

4-3-5-3 坪刈り法

① 植物

St.Aの各層の種類数は3~5種類、St.Bの各層の種類数は4~8種類の範囲にあり、St.Bの中層と下層で最も多かった。総種類数は16種類であった。

St.Aの各層の湿重量は2.54~27.69g/0.09m²、St.Bの各層の湿重量は26.55~226.71g/0.09m²の範囲にあり、St.Bの中層で最も多かった。全地点の平均湿重量は59.80g/0.09m²であった。

湿重量の主要種は St. Aの上層と中層及び St. Bの中層と下層においてショウジョウケノリ、St. Aの下層でイギス属であり、全地点の主要種もこの2種であった。このうちショウジョウケノリは平均湿重量の73.8%を占めていた

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

② 動物

St. Aの各層の種類数は29~63種類、St. Bの各層の種類数は13~31種類の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。総種類数は97種類であった。

St. Aの各層の個体数は557~3,919個体/0.09m²、St. Bの各層の個体数は49~1,105個体/0.09m²の範囲にあり、St. Aの中層で最も多かった。全地点の平均個体数は1,506個体/0.09m²であった。

St. Aの各層の湿重量は20.94~547.24g/0.09m²、St. Bの各層の湿重量は1.39~178.77g/0.09m²の範囲にあり、St. Aの中層で最も多かった。全地点の平均湿重量は155.84g/0.09m²であった。

個体数の主要種は、St. Aの中層、下層において環形動物門の *Dodecaceria* sp. (ドデカケリア属) が、St. Aの上層において環形動物門の *Hydroides ezoensis* (エゾノホシサシ) が、St. Bの上層において節足動物門の *Dynoides dentisinus* (シケンウシメシ) が、St. Bの中層において軟体動物門の NUDIBRANCHIA (ウミウシ目) が、St. Bの下層において軟体動物門の *Musculista senhousia* (ホトトギスガイ) が多く出現し、*Dodecaceria* sp.、*Hydroides ezoensis* が全地点平均個体数のそれぞれ27.0%、26.0%を占めていた。

湿重量の主要種は、St. Aの上層において軟体動物門の *Thais clavigera* (イセエビ) が、中層、下層において原索動物門の Polyclinidae (ポリクリニ科) が、St. Bの上層において軟体動物門の *Siphonaria sirius* (キリハカガイ) が、中層において軟体動物門の *Omphalius rusticus* (コシダカカマクラ) が、下層において節足動物門の *Balanus trigonus* (サカカブヅツボ) が占めており、Polyclinidae、*Balanus trigonus* が全地点平均個体数の62.2%、10.7%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-6 漁獲対象動植物調査結果

刺し網調査結果の概要を表4-3-6-1、主要種を表4-3-6-2、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-3に示す。また、底引網調査結果の概要を表4-3-6-4、主要種を表4-3-6-5、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-6に示す。

4-3-6-1 刺し網

種類数は魚類が8種類、甲殻類が2種類であり、総種類数は10種類であった。

個体数は1網当たり、魚類が26個体、甲殻類が2個体であり、総個体数は28個体であった。

湿重量は1網当たり、魚類が3,646.3g、甲殻類が71.1gであり、総湿重量は3,717.4gであった。

個体数の主要種のうちで魚類では *Argyrosomus argentatus* (シログチ)、甲殻類では *Charybdis japonica* (イカニ)、*Oratosquilla oratoria* (シヤコ) が最も多かった。

湿重量の主要種のうち魚類では *Argyrosomus argentatus* (シログチ)、甲殻類では *Charybdis japonica* (イカニ) が最も多かった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

4-3-6-2 底引網

種類数は魚類が6種類、甲殻類が9種類、頭足類が1種類であり、総種類数は16種類であった。

個体数は1網当たり、魚類が32個体、甲殻類が40個体、頭足類が1個体であり、総個体数は73個体であった。

湿重量は1網当たり、魚類が1,982.3g、甲殻類が640.3g、頭足類が196.1gであり、総湿重量は2,818.7gであった。

個体数の主要種のうちで魚類では *Cynoglossus joyneri*(アカシビラメ)、甲殻類では *Philyra heterograna* (ハトリゴボシ)、*Charybdis bimaculata* (フタホシイカニ)、頭足類では *Sepia esculenta* (コウイカ) が最も多かった。

湿重量の主要種のうち魚類では *Cynoglossus joyneri*(アカシビラメ)、甲殻類では *Portunus trituberculatus* (ガザミ)、頭足類は *Sepia esculenta* (コウイカ) であった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類である。

表4-3-1-1(1) 植物プランクトン調査結果概要(上層) [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月10日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	22	16	21	17	30 (16 ~ 22)
細胞数	1,915,840	1,176,800	655,840	273,120	1,005,400 (273,120 ~ 1,915,840)
沈殿量 (mL)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10 (0.10 ~ 0.10)
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比:%)	スケレトネマ コスタツム 1,797,120(93.8)	スケレトネマ コスタツム 1,140,480(96.9)	スケレトネマ コスタツム 633,600(96.6)	スケレトネマ コスタツム 259,200(94.9)	スケレトネマ コスタツム 957,600(95.2)

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 細胞数、沈殿量の単位は、1L当たりで示す。

表4-2-1-1(2) 植物プランクトン調査結果概要(下層) [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月10日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	19	22	17	18	35 (17 ~ 22)
細胞数	1,981,120	602,720	315,760	671,760	892,840 (315,760 ~ 1,981,120)
沈殿量 (mL)	0.10	0.10	0.10	0.20	0.13 (0.10 ~ 0.20)
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比:%)	スケレトネマ コスタツム 1,946,880 (98.3)	スケレトネマ コスタツム 587,520 (97.5)	スケレトネマ コスタツム 288,000 (91.2)	スケレトネマ コスタツム 645,120 (96)	スケレトネマ コスタツム 866,880 (97.1)

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 細胞数、沈殿量の単位は、1L当たりで示す。

表4-3-1-2 植物プランクトン出現種一覧 [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月10日

番号	門	綱	目	科	学名	和名、読み方				
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	—	CRYPTOMONADALES	クリプトモナス目				
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	キムノテニウム	キムノテニウム	Gymnodinium sp.					
3					Gyrodinium spp.					
4					Gymnodiniaceae	キムノテニウム科				
5			ヘリテニウム	ヘリテニウム	ヘリテニウム	カリキオテニテ	Scrippsiella sp.			
6						ヘリテニウム	Heterocapsa triquetra			
7						Heterocapsa sp.				
8						Protoperidinium bipes				
9						Protoperidinium spp.				
10			黄色植物	黄金色藻	テイクチオカ	テイクチオカ	Distephanus speculum			
11	エブリア	Ebria tripartita								
12	珪藻	円心		円心	コスキノテニクス	Coscinodiscus spp.				
13					ヘリオヘルク	Actinopterychus senarius				
14					メロシラ	Hyalodiscus stelliger				
15						Leptocylindrus danicus				
16					ガラシオシラ	Skeletonema costatum				
17						Thalassiosira rotura				
18						Thalassiosira spp.				
19					リソソレニア	Rhizosolenia alata				
20						Rhizosolenia fragilissima				
21						Rhizosolenia stolterfothii				
22					ビダノワイ	Eucampia zodiacus				
23					キートケロス	キートケロス	キートケロス	Chaetoceros affine		
24								Chaetoceros danicum		
25								Chaetoceros debile		
26								Chaetoceros didymum		
27								Chaetoceros spp.		
28					羽状	羽状	羽状	テイトマ	Thalassionema nitzschioides	
29								ナクイキエラ	Diploneis sp.	
30		Pleurosigma sp.								
31		Naviculaceae								
32	ニクチア	Cylindrotheca closterium								
33		Nitzschia pungens								
34		Nitzschia sp.								
35	ハプト植物	ハプト藻	—	—	HAPTOPHYCEAE	ハプト藻綱				
36	ミドリムシ植物	ミドリムシ	—	—	EUGLENOPHYCEAE	ミドリムシ綱				
37	緑色植物	プラシノ藻	—	—	PRASINOPHYCEAE	プラシノ藻綱				

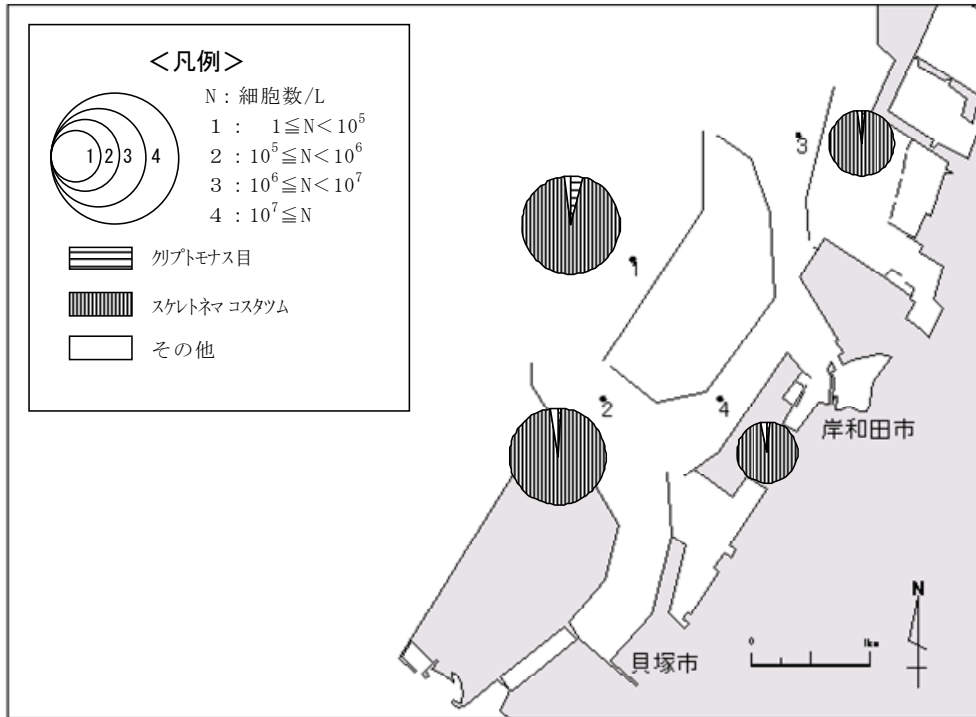
表4-3-1-3 植物プランクトン調査結果(細胞数) [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月10日

番号	学名	調査点		1		2		3		4		合計		
		層	層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	全層
1	CRYPTOMONADALES			74,880	17,280	11,520	2,880	8,640	5,760	4,320	11,520	99,360	37,440	136,800
2	<i>Gymnodinium</i> sp.						160						160	160
3	<i>Gyrodinium</i> spp.			160	320	480	160	320	320	160	160	1,120	960	2,080
4	Gymnodiniaceae						160	160		160		320	160	480
5	<i>Scrippsiella</i> sp.							160	80			160	80	240
6	<i>Heterocapsa triquetra</i>			160								160		160
7	<i>Heterocapsa</i> sp.			160		160	160					320	160	480
8	<i>Protoperidinium bipes</i>				160			160		320		480	160	640
9	<i>Protoperidinium</i> spp.			160	160		160			160		320	320	640
10	<i>Distephanus speculum</i>			320				160	160			480	160	640
11	<i>Ebria tripartita</i>					160	160				160	160	320	480
12	<i>Coscinodiscus</i> spp.			160			160	160				320	160	480
13	<i>Actinoptychus senarius</i>						160		320				480	480
14	<i>Hyalodiscus stelliger</i>				320								320	320
15	<i>Leptocylindrus danicus</i>							640	640	640		1,280	640	1,920
16	<i>Skeletonema costatum</i>			1,797,120	1,946,880	1,140,480	587,520	633,600	288,000	259,200	645,120	3,830,400	3,467,520	7,297,920
17	<i>Thalassiosira rotura</i>					160	160	160	160	160		480	320	800
18	<i>Thalassiosira</i> spp.			11,520	320	14,400	2,880	5,760	5,760	1,920	2,880	33,600	11,840	45,440
19	<i>Rhizosolenia alata</i>										160		160	160
20	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>					320					320	320	320	640
21	<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>			320	160		160					320	320	640
22	<i>Eucampia zodiacus</i>			7,360	10,400	3,840	2,240	1,280	11,520	960	5,760	13,440	29,920	43,360
23	<i>Chaetoceros affine</i>			320		640					640	960	640	1,600
24	<i>Chaetoceros danicum</i>			640	320	960		320	320	960		2,880	640	3,520
25	<i>Chaetoceros debile</i>										960		960	960
26	<i>Chaetoceros didymum</i>			320	640	960	1,280	960		1,760	960	4,000	2,880	6,880
27	<i>Chaetoceros</i> spp.			640	480	320	320	800	640	320	1,920	2,080	3,360	5,440
28	<i>Thalassionema nitzschioides</i>			800	640		320	640	480	320		1,760	1,440	3,200
29	<i>Diploneis</i> sp.				160		160				80		400	400
30	<i>Pleurosigma</i> sp.						160						160	160
31	Naviculaceae				160			160			160	160	320	480
32	<i>Cylindrotheca closterium</i>			160								160		160
33	<i>Nitzschia pungens</i>			320	2,240	1,920	2,880	640	960	1,440	320	4,320	6,400	10,720
34	<i>Nitzschia</i> sp.			160	160	320	160	160		160	320	800	640	1,440
35	HAPTOPHYCEAE			8,640	160			640	320		160	9,280	640	9,920
36	EUGLENOPHYCEAE			5,760	160	160	320	320	160		160	6,240	800	7,040
37	PRASINOPHYCEAE			5,760					160	160		5,920	160	6,080
	種類数			22	19	16	22	21	17	17	18	30	35	37
	合計			1,915,840	1,981,120	1,176,800	602,720	655,840	315,760	273,120	671,760	4,021,600	3,571,360	7,592,960

注1:細胞数の単位は1L当たりで示す。

【上層】



【下層】

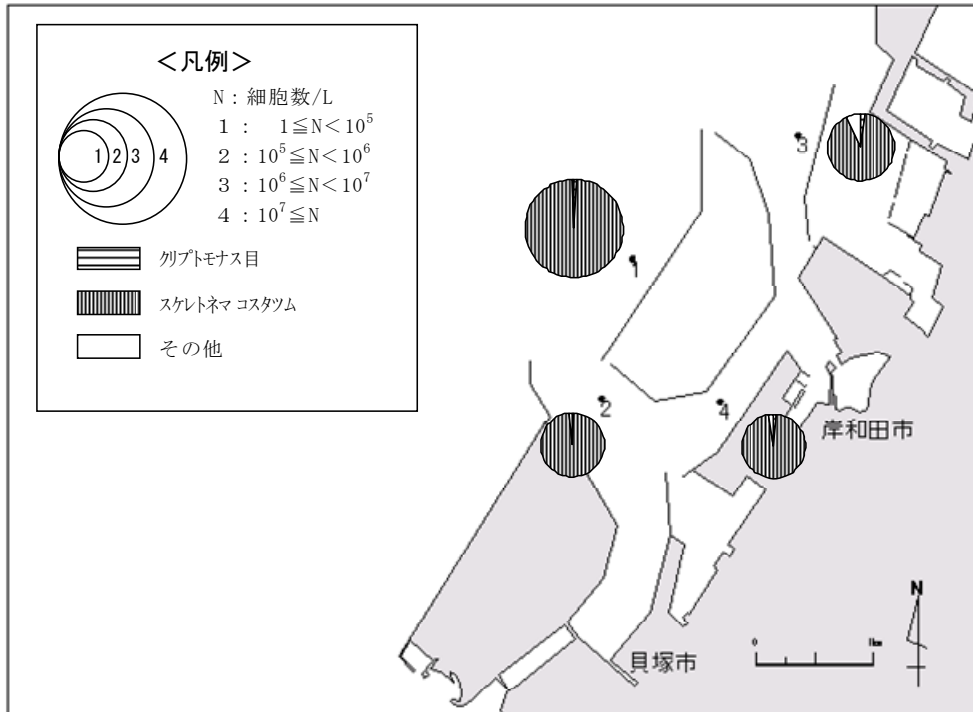


図 4-3-1 植物プランクトンの水平分布 [平成 25 年度冬季分]

表 4-3-2-1 動物プランクトン調査結果概要 [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月10日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)
種 類 数	20	22	20	22	29 (20 ~ 22)
個 体 数	14,235	9,031	10,598	10,309	11,043 (9,031 ~ 14,235)
沈 殿 量 (mL)	7.9	6.7	8.0	9.2	8.0 (6.7 ~ 9.2)
主 要 種 個 体 数 (カッコ内は組成比：%)	ハ ^ラ ラス属 3,558 (25.0) ニマイ ^イ 綱の殻頂期幼生 3,070 (21.6)	ハ ^ラ ラス属 1,939 (21.5) アルテ ^ア 属 970 (10.7)	ハ ^ラ ラス属 2,344 (22.1) カイシ目のノ ^ブ リス幼生 1,406 (13.3) ニマイ ^イ 綱の殻頂期幼生 1,313 (12.4)	ハ ^ラ ラス属 2,471 (24.0) ハ ^ラ ラス ハ ^ル ウス 1,341 (13.0)	ハ ^ラ ラス属 2,578 (23.3) ニマイ ^イ 綱の殻頂期幼生 1,325 (12.0)

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数、沈殿量の単位は1m³当たりで示す。

表4-3-2-2 動物プランクトン出現種一覧 [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月10日

番号	門	綱	目	科	学名	和名			
1	刺胞動物	ヒト ^{ロムシ}	ヒト ^{ロムシ}	シミコクラケ	<i>Rathkea octopunctata</i>	シミコクラケ			
2	軟体動物	マキカ ^イ	—	—	veliger of Gastropoda	マキカ ^イ 綱のウ ^{ェリジ} ヤ ^ー 幼生			
3		ニマイカ ^イ	—	—	<i>D-shaped larva of Bivalvia</i>	ニマイカ ^イ 綱のD型幼生			
4		—	—	—	umbo Larva of Bivalvia	ニマイカ ^イ 綱の殻頂期幼生			
5		環形動物	ゴ ^{カイ}	—	—	nectochaeta of Polychaeta	ゴ ^{カイ} 綱のネトキヤ ^ー 幼生		
6	節足動物	甲殻	シミ ^{ンコ}	オオ ^ミ シミ ^{ンコ}	<i>Evadne nordmanni</i>	ノルホ ^{マン} エホ ^{シミ} シミ ^{ンコ}			
7			—	—	<i>Podon leuckarti</i>	オオウ ^ミ オオ ^ミ シミ ^{ンコ}			
8			カイ ^{アシ}	—	カラ ^ス	<i>Calanus sinicus</i>			
9					—	<i>Calanus sp.</i>			
10					ハ ^ラ カラ ^ス	—	<i>Paracalanus crasirostris</i>		
11						—	<i>Paracalanus parvus</i>		
12						—	<i>Paracalanus sp.</i>		
13					ケン ^ト ロハ ^ケ ス	—	<i>Centropages abdominalis</i>		
14						—	<i>Centropages sp.</i>		
15					プ ^セ ウ ^ト テ ^イ ア ^ト ム ^ス	—	—	<i>Pseudodiaptomus marinus</i>	
16					ア ^カ ル ^テ イ ^ア	—	—	<i>Acartia omorii</i>	
17						—	<i>Acartia sp.</i>		
18			オイ ^ト ナ	—	—	<i>Oithona davisae</i>			
19				—	<i>Oithona similis</i>				
20				—	<i>Oithona sp.</i>				
21			コ ^リ ケ ^ウ ス	—	—	<i>Corycaeus affinis</i>			
22				—	<i>Corycaeus sp.</i>				
23	エ ^ク テ ^イ ノ ^ソ マ	—		—	<i>Microsetella norvegica</i>				
24	—	—	—	nauplius of Copepoda	カイ ^{アシ} 目のノ ^ブ リ ^{ウス} 幼生				
25	ヤ ^ム シ	ヤ ^ム シ	—	サ ^ジ ツ ^タ	<i>Sagitta carassa</i>	マ ^ン トヤ ^ム シ			
26				—	<i>Sagitta sp.</i>	ヤ ^ム シ属			
27	原索動物	オ ^カ マ ^ホ ヤ	オ ^カ マ ^ホ ヤ	—	<i>Oikopleura dioica</i>	ワ ^カ レオ ^カ マ ^ホ ヤ			
28				—	<i>Oikopleura longicauda</i>	オ ^ナ カ ^オ カ ^マ ホ ^ヤ			
29				—	<i>Oikopleura sp.</i>				

表4-3-2-3 動物プランクトン調査結果(個体数) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月10日

番号	学名	調査点	1	2	3	4	合計
1	<i>Rathkea octopunctata</i>		70	121	94	71	356
2	veliger of Gastropoda		628	303	563	353	1,847
3	D-shaped larva of Bivalvia		349	364	656		1,369
4	umbo Larva of Bivalvia		3,070	424	1,313	494	5,301
5	nectochaeta of Polychaeta		70			212	282
6	<i>Evadne nordmanni</i>			61		71	132
7	<i>Podon leuckarti</i>			121			121
8	<i>Calanus sinicus</i>			121	469	141	731
9	<i>Calanus</i> sp.			61	188		249
10	<i>Paracalanus crasirostris</i>				188		188
11	<i>Paracalanus parvus</i>		837	667	563	1,341	3,408
12	<i>Paracalanus</i> sp.		3,558	1,939	2,344	2,471	10,312
13	<i>Centropages abdominalis</i>		349	545	375	282	1,551
14	<i>Centropages</i> sp.		419	606	375	565	1,965
15	<i>Pseudodiaptomus marinus</i>					71	71
16	<i>Acartia omorii</i>		349	485	188	918	1,940
17	<i>Acartia</i> sp.		1,116	970	656	706	3,448
18	<i>Oithona davisae</i>		70				70
19	<i>Oithona similis</i>		419	242	188	71	920
20	<i>Oithona</i> sp.		1,047	606	656	847	3,156
21	<i>Corycaeus affinis</i>		70		94	71	235
22	<i>Corycaeus</i> sp.			182	94		276
23	<i>Microsetella norvegica</i>		209	61			270
24	nauplius of Copepoda		1,186	667	1,406	706	3,965
25	<i>Sagitta carassa</i>					71	71
26	<i>Sagitta</i> sp.		70		94	212	376
27	<i>Oikopleura dioica</i>		279	242		212	733
28	<i>Oikopleura longicauda</i>			182		282	464
29	<i>Oikopleura</i> sp.		70	61	94	141	366
	種類数		20	22	20	22	29
	合計		14,235	9,031	10,598	10,309	44,173
参考	<i>Noctiluca scintillans</i>		70		188	212	470

注：個体数は1m³当たりで示す。ただし、調査点合計は4m³当たりで示す。

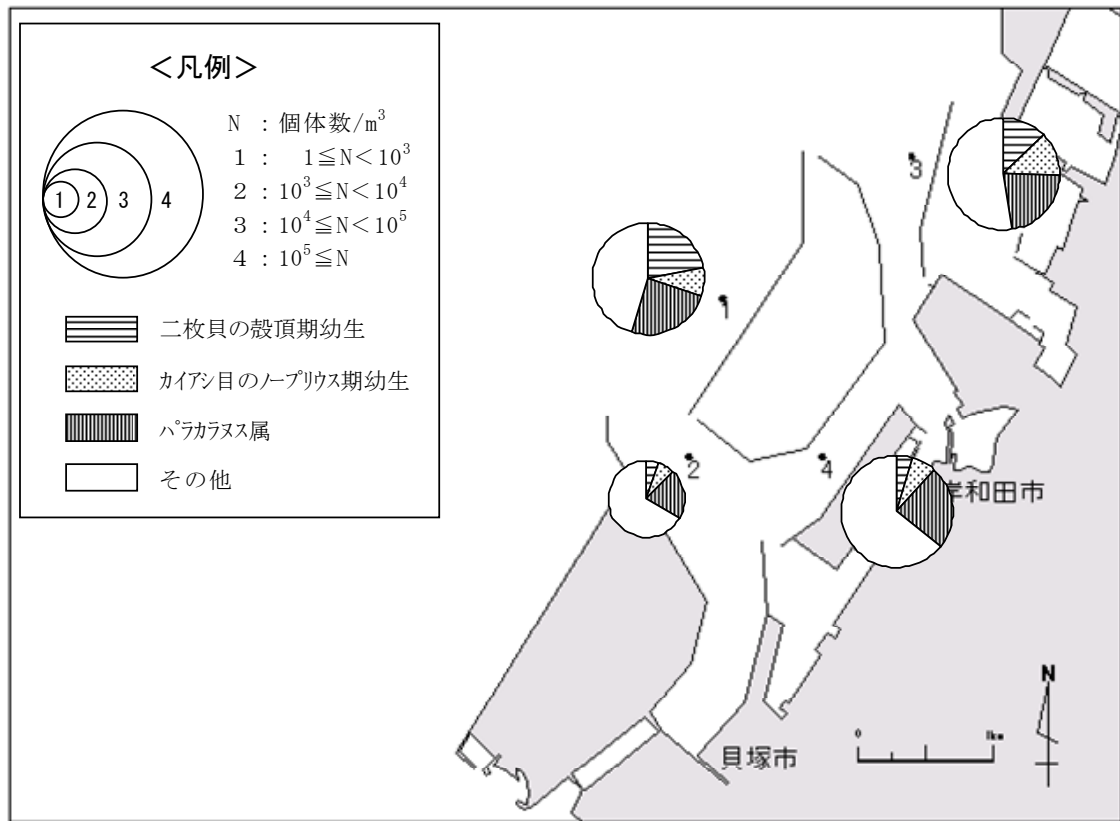


図 4-3-2 動物プランクトンの水平分布 [平成 25 年度冬季分]

表4-3-3-1 底生生物調査結果概要 [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 3日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)	
種類数	軟体動物門	1		7		7 (0 ~ 7)
	環形動物門	6	4	14		15 (0 ~ 14)
	節足動物門	1		3		4 (0 ~ 3)
	その他			4		4 (0 ~ 4)
	合計	8	4	28	0	30 (0 ~ 28)
個体数	軟体動物門	1		24		6 (0 ~ 24)
	環形動物門	674	5	49		182 (0 ~ 674)
	節足動物門	1		4		1 (0 ~ 4)
	その他			36		9 (0 ~ 36)
	合計	676	5	113	0	198 (0 ~ 676)
組個成体比数 (%)	軟体動物門	0.1		21.2		3.0 (0.0 ~ 21.2)
	環形動物門	99.7	100.0	43.4		91.9 (0.0 ~ 100.0)
	節足動物門	0.1		3.5		0.5 (0.0 ~ 3.5)
	その他			31.9		4.5 (0.0 ~ 31.9)
湿重量 (g)	軟体動物門	+		3.44		0.86 (0.00 ~ 3.44)
	環形動物門	9.42	0.25	0.50		2.54 (0.00 ~ 9.42)
	節足動物門	0.02		0.25		0.07 (0.00 ~ 0.25)
	その他			0.19		0.05 (0.00 ~ 0.19)
	合計	9.44	0.25	4.38	0.00	3.52 (0.00 ~ 9.44)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	ハ ^ラ フ ^リ オノスビ ^オ 属 (A型) 640 (94.7)	ハ ^ラ フ ^リ オノスビ ^オ 属 (A型) 2 (40.0) ウキ ^コ カイ 1 (20.0) グ ^リ キンテ ^ス 属 1 (20.0) ア ^シ ビ ^キ ツ ^ハ サ ^コ カイ 1 (20.0)	フオロニス属 25 (22.1) ハ ^ラ フ ^リ オノスビ ^オ 属 (A型) 18 (15.9)	出現種なし	ハ ^ラ フ ^リ オノスビ ^オ 属 (A型) 165 (82.9)	

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数及び湿重量(g)は0.1m²当たりで示す。

表 4-3-3-2 底生生物出現種一覧 [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 3日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	
1	紐形動物	-	-	-	NEMERTINEA	紐形動物門	
2	軟体動物	マキカイ	フトウカイ	オオコムツフカイ	<i>Cylichnatys angusta</i>	カミシカイコカイタマシ	
3				キセリタ	<i>Philine argentata</i>	キセリタ	
4		ニマイカイ	フネカイ	フネカイ	<i>Scapharca subcrenata</i>	サルボウ	
5				イカイ	イカイ	<i>Musculus senhousia</i>	ホトキス
6				ハマクリ	アサシカイ	<i>Theora fragilis</i>	シズクカイ
7					カワホトキス	<i>Alvenius ojiianus</i>	ケシリカイ
8					マルスタレカイ	<i>Veremolpa micra</i>	ヒメカノアサリ
9					環形動物	コカイ	サシハコカイ
10	コカイ	サシハコカイ	ノラリウロコムシ	<i>Sthenelais mitsuii</i>			
11			カキコカイ	<i>Sigambra</i> sp.			
12			オトヒモカイ	<i>Gyptis</i> sp.			
13			コカイ	<i>Nectoneanthes latipoda</i>			
14				<i>Leonnates</i> sp.			
15			シロカネコカイ	<i>Nephtys oligobranchia</i>	コノシロカネコカイ		
16			チロリ	<i>Glycera</i> sp.			
17			ニカイチロリ	<i>Glycinde</i> sp.			
18			イソメ	キホシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>	カタマカリキホシイソメ	
19			スピオ	スピオ	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		
20				ツハサコカイ	<i>Spiochaetopterus costarum</i>	アシビキツハサコカイ	
21			フサコカイ	チマキコカイ	<i>Owenia fusiformis</i>	チマキコカイ	
22				カンムリコカイ	<i>Lygdamis giardi</i>	ハナカンムリ	
23	ウミサコムシ	<i>Lagis bocki</i>		ウミサコムシ			
24	節足動物	甲殻	エビ	クルマエビ	<i>Metapenaeopsis</i> sp.	アカエビ属	
25				ヤトカリ	<i>Diogenes</i> sp.	ツリヤトカリ属	
26				コフシカニ	<i>Philyra syndactyla</i>	ヒラコフシ	
27				エンコウカニ	<i>Typhlocarcinus villosus</i>	メクラカニ	
28	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.		
29		腕足	シャミセンカイ	シャミセンカイ	<i>Lingula</i> sp.	シャミセンカイ属	
30	棘皮動物	クモヒトテ	クモヒトテ	クモヒトテ	<i>Ophiura kinbergi</i>	クシノハクモヒトテ	

表 4-3-3-3 底生生物調査結果(個体数) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 3日

番号	学名	調査点	1	2	3	4	合計
1	NEMERTINEA				9		9
2	<i>Cylichnatys angusta</i>				2		2
3	<i>Philine argentata</i>		1		8		9
4	<i>Scapharca subcrenata</i>				5		5
5	<i>Musculus senhousia</i>				1		1
6	<i>Theora fragilis</i>				1		1
7	<i>Alvenius ojanus</i>				3		3
8	<i>Veremolpa micra</i>				4		4
9	<i>Harmothoe</i> sp.		2		4		6
10	<i>Sthenelais mitsuii</i>		3		1		4
11	<i>Sigambra</i> sp.				3		3
12	<i>Gyptis</i> sp.				1		1
13	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		26	1	3		30
14	<i>Leonnates</i> sp.		1				1
15	<i>Nephtys oligobranchia</i>		2		2		4
16	<i>Glycera</i> sp.				1		1
17	<i>Glycinde</i> sp.			1	4		5
18	<i>Scoletoma longifolia</i>				1		1
19	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		640	2	18		660
20	<i>Spiochaetopterus costarum</i>			1	1		2
21	<i>Owenia fusiformis</i>				2		2
22	<i>Lygdamis giardi</i>				5		5
23	<i>Lagis bocki</i>				3		3
24	<i>Metapenaeopsis</i> sp.				1		1
25	<i>Diogenes</i> sp.				2		2
26	<i>Philyra syndactyla</i>				1		1
27	<i>Typhlocarcinus villosus</i>		1				1
28	<i>Phoronis</i> sp.				25		25
29	<i>Lingula</i> sp.				1		1
30	<i>Ophiura kinbergi</i>				1		1
	種類数		8	4	28	0	30
	合計		676	5	113	0	794

注：個体数は0.1m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.4m²当たりで示す。

表 4-3-3-4 底生生物調査結果(湿重量) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 3日

番号	学名	調査点	1	2	3	4	合計
1	NEMERTINEA				0.09		0.09
2	<i>Cylichnatys angusta</i>				0.01		0.01
3	<i>Philine argentata</i>		+		0.15		0.15
4	<i>Scapharca subcrenata</i>				3.22		3.22
5	<i>Musculus senhousia</i>				+		+
6	<i>Theora fragilis</i>				+		+
7	<i>Alvenius ojanus</i>				+		+
8	<i>Veremolpa micra</i>				0.06		0.06
9	<i>Harmothoe</i> sp.		0.01		0.02		0.03
10	<i>Sthenelais mitsuii</i>		0.03		+		0.03
11	<i>Sigambra</i> sp.				0.01		0.01
12	<i>Gyptis</i> sp.				+		+
13	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		2.15	0.19	0.02		2.36
14	<i>Leonnates</i> sp.		+				+
15	<i>Nephtys oligobranchia</i>		0.01		0.01		0.02
16	<i>Glycera</i> sp.				+		+
17	<i>Glycinde</i> sp.			+	0.01		0.01
18	<i>Scoletoma longifolia</i>				+		+
19	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		7.22	0.04	0.09		7.35
20	<i>Spiochaetopterus costarum</i>			0.02	0.01		0.03
21	<i>Owenia fusiformis</i>				0.12		0.12
22	<i>Lygdamis giardi</i>				0.03		0.03
23	<i>Lagis bocki</i>				0.18		0.18
24	<i>Metapenaeopsis</i> sp.				0.06		0.06
25	<i>Diogenes</i> sp.				0.03		0.03
26	<i>Philyra syndactyla</i>				0.16		0.16
27	<i>Typhlocarcinus villosus</i>		0.02				0.02
28	<i>Phoronis</i> sp.				0.08		0.08
29	<i>Lingula</i> sp.				+		+
30	<i>Ophiura kinbergi</i>				0.02		0.02
	種類数		8	4	28	0	30
	合計		9.44	0.25	4.38	0.00	14.07

注： 1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量(g)は0.1m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.4m²当たりで示す。

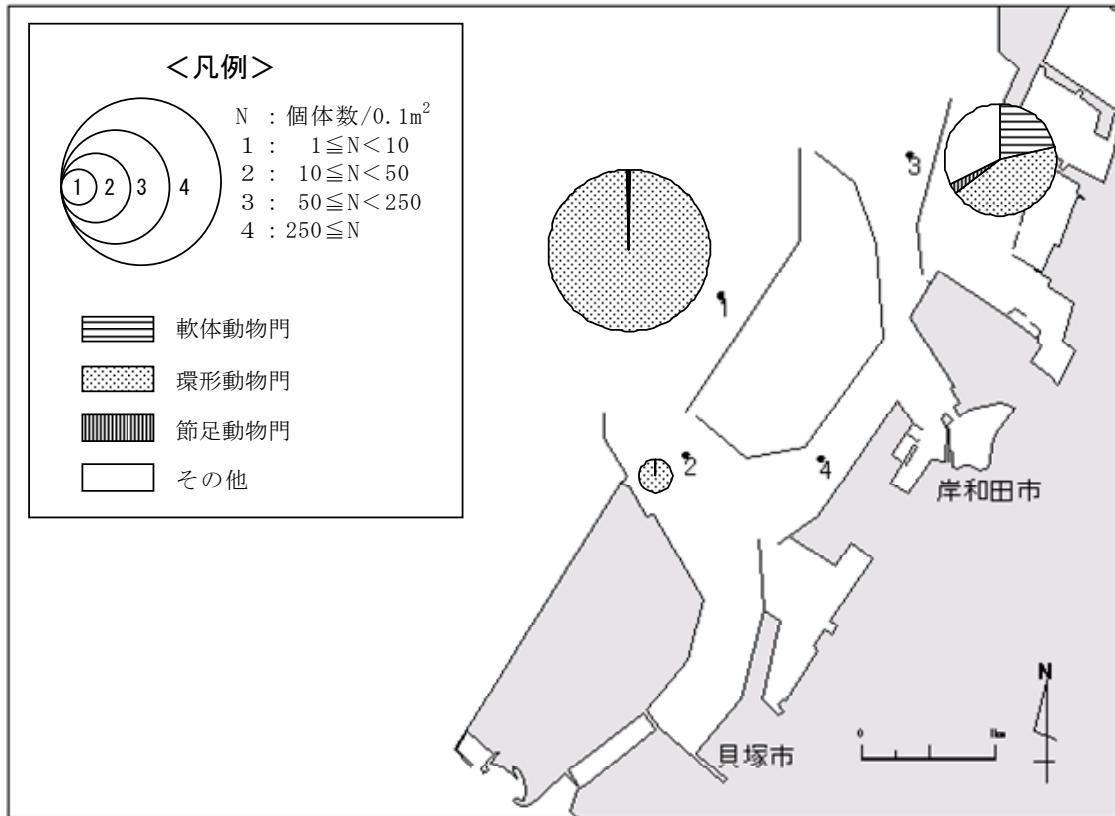


図 4-3-3 底生生物の水平分布 [平成 25 年度冬季分]

表 4-3-4-1 魚卵調査結果概要 [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	0	0	0	0	0 (0 ~ 0)
個数	0	0	0	0	0 (0 ~ 0)
主要種 個数 (カッコ内は組成比：%)	(該当種なし)	(該当種なし)	(該当種なし)	(該当種なし)	(該当種なし)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個数の単位は1,000m³当たりで示す。

表 4-3-4-2 魚卵出現種一覧 [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日						
番号	門	綱	目	科	学名	和名
(該当種なし)						

表 4-3-4-3 魚卵調査結果 (個数) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日								
番号	学名	和名	調査点	1	2	3	4	合計
(該当種なし)								
種類数				0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	0

注: 個数は1,000m³当たりで示す。ただし調査点合計の欄は4,000m³当たりで示す。

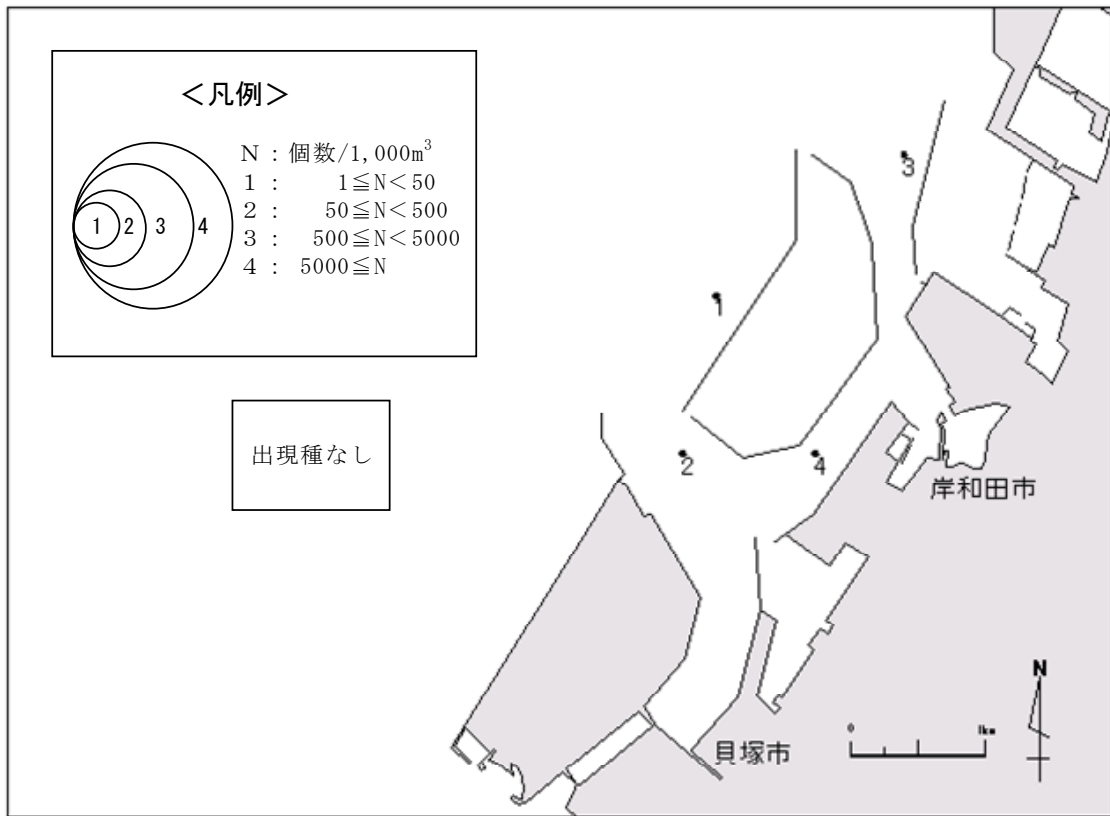


図4-3-4-1 魚卵の水平分布 [平成25年度冬季分]

表4-3-4-4 稚仔魚調査結果概要 [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	1	1	3	1	3 (1 ~ 3)
個体数	5	26	311	170	128 (5 ~ 311)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比:%)	カサコ ^ゝ 5(100.0)	カサコ ^ゝ 26(100.0)	カサコ ^ゝ 301(96.8)	カサコ ^ゝ 170(100.0)	カサコ ^ゝ 126(98.4)

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数の単位は1,000m³当たりで示す。

表 4-3-4-5 稚仔魚出現種一覧 [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ
2			カサゴ	フサカサゴ	<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサゴ
3			カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ

表 4-3-4-6 稚仔魚調査結果 (個体数) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 3日

番号	学名	和名	調査点	1	2	3	4	合計
1	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ				5		5
2	<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサゴ		5	26	301	170	502
3	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ				5		5
種類数				1	1	3	1	3
合計				5	26	311	170	512

注: 個体数は1,000m³当たりで示す。ただし調査点合計の欄は4,000m³当たりで示す。

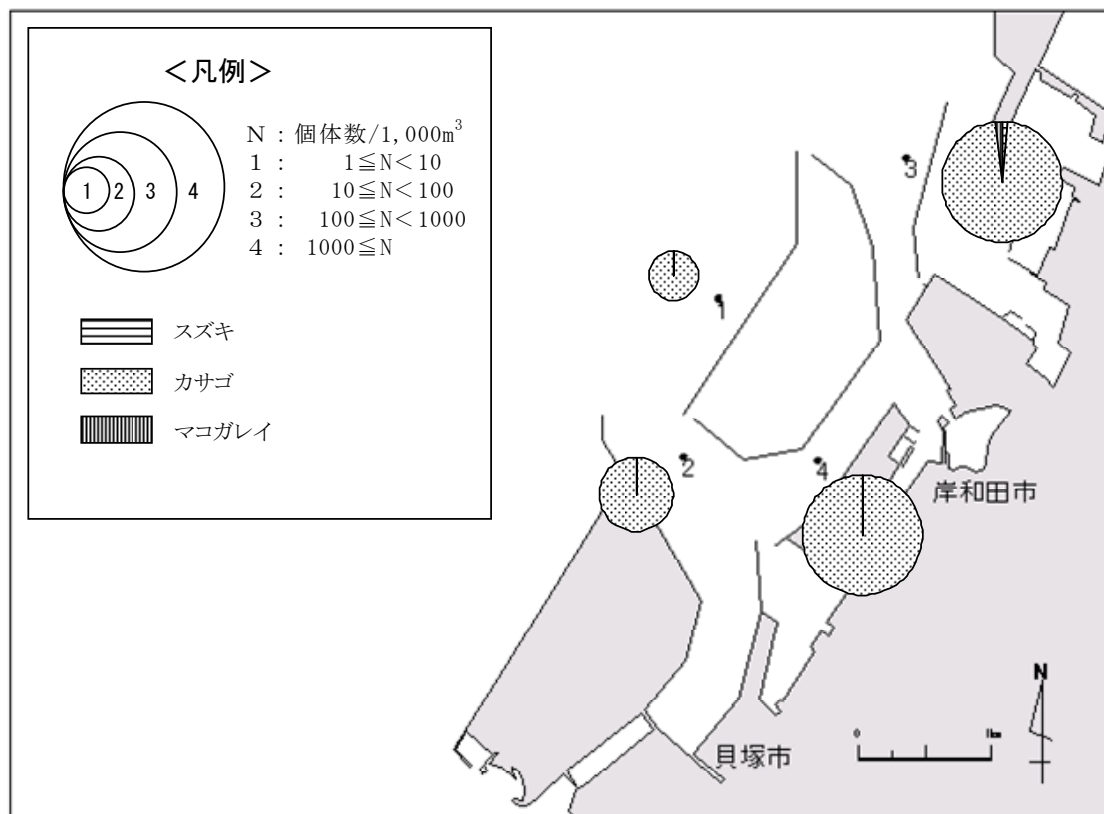


図4-3-4-2 稚仔魚の水平分布 [平成25年度冬季分]

表 4-3-5-1(1) 付着生物調査結果出現種一覧(目視観察)

調査日：平成26年 2月 6日

S t . A

調査時刻：09:00~10:50

調査方法：ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
基質		コンクリートケース																		
出現種	水深 (m)	+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0									
植 物	1 トゲサ属			15	90	80	20	10	+											
	2 シオガサ属							r	r	r										
	3 藍藻綱								r	r		r								
	4 イキス科									15	15	20	10	5						
	5 スカベニ									r				r	+	+				
	6 タオキソウ											+	5	+	5	15	15	5	+	r
動 物	1 アレキマキガイ	(400)																		
	2 タマキガイ	(40)																		
	3 イワフツボ	5	r																	
	4 カガキ			+																
	5 ヒサヲガイ			(6)																
	6 キクハナガイ		(1)	(2)																
	7 コガモガイ属		(2)	(5)																
	8 マツバガイ		(1)	(12)																
	9 ヨモカサガイ		(10)	(6)																
	10 タテジマイクシヤク		(1)	(3)																
	11 カンザシコカイ科	10	5	5	10	5	+	+	5	5	+	+	+	5	r	+	+			
	12 イボニシ	(2)	(22)	(5)	(1)		(3)	(4)	(3)						(2)		(2)	(2)	(1)	
	13 ヒメハダヒサヲガイ		(3)																	
	14 クロフツボ		(3)																	
	15 群体性ホヤ類		5	5	20	10	20	10	10	5	+	+	r							
	16 普通海綿綱		r	5	10	r	+	10	+	5				+						
	17 コケムシ綱		r	+							r	r	r	+	r					
	18 フサコケムシ科		r	r	r	+	+	r	5	5	r	r	+		+					
	19 イキクシヤク目			r	r															
	20 泥巣			r	r	r	+	+	10	10	15	10	20	20	30	20	20	40		
	21 ヨツベガニ			(1)	(3)															
	22 ミウミシヤ目				(1)	(1)														
	23 単体性ホヤ類						(1)	(2)												
	24 ヤドリカ類						(1)	(2)	(2)											
	25 コリイホヤ属											(1)								
	26 アミコケムシ科												r	+	5	5	+			
	27 シンヨウニ													(2)						
	28 キコ科													(1)	(1)					
	29 ヒトロムシ綱													5	+	+	+			
	30 シオガマシコ													(1)	(1)	(4)	(1)	(3)	(3)	
	31 腹足綱(卵塊)															+	+	5	15	
	32 マナコ																(1)			
	33 カンクシヤク目																(1)			
	34 ナミマシコ科																		(1)	
	35 カミクワ																			(1)

注)1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

表4-3-5-1(2) 付着生物調査結果出現種一覧(目視観察)

調査日：平成26年 2月 6日

S t . B

調査時刻：11:00~12:50

調査方法：ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基 質		被 覆 石																
出現種 \ 水深 (m)		+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0								
植 物	1 フクロフソ			10														
	2 オキツリ			+	+													
	3 イトケサ属			100	95	5	5	5	r	5	r	r	r	r	+	r	r	
	4 アサ属				r	r	5	+	r	+	r		r					
	5 ツルツル					r	r	r		r								
	6 ムカデノリ属					r			r		r							
	7 マサ					+	30	40	+	15	+	5	+	10	r			
	8 オコノリ属						r	+	+	r	r							
	9 カハノリ							+	+	5	+	5	r	+	r	r		
	10 タオヤギソウ												+					
	11 イギス科														+		5	
動 物	1 インダミ			(1)														
	2 ヤトカ類			(2)		(1)					(1)		(2)					
	3 カンザシコカイ科			r	r	r	r	r	r	+	r	5	r	r	r	r		r
	4 イトマキヒトデ				(10)	(11)	(6)	(23)	(6)	(12)	(7)	(14)	(14)	(7)	(5)	(8)	(4)	
	5 サンカクツボ					+	5	5	r	5	+	5	5	+	5	+		r
	6 イホニシ					(1)	(2)		(5)		(1)							
	7 コシカカシカ					(1)	(4)	(4)	(4)	(5)	(1)	(6)	(5)	(2)	(3)	(1)	(1)	
	8 レイシカイ							(2)		(3)								
	9 ホトキスカイ									r		r						
	10 ナミカシ科										(4)							
	11 シマメノウカシ										(1)	(2)	(1)	(2)	(1)			
	12 泥巢																	+

注)1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

表 4 - 3 - 5 - 2 付着生物(植物)藻長測定結果

調査日：平成26年 2月 6日

出現種\地点	S t . A	S t . B
イトグサ属	10mm~200mm	10mm~200mm
シオグサ属	5mm~10mm	---
藍藻綱	測定不可	---
イグサ科	5mm~10mm	5mm~10mm
スカケベニ	50mm~100mm	---
タヤギソウ	50mm~150mm	50mm~180mm
フクロフリ	---	50mm~100mm
オキツリ	---	30mm~50mm
アサ属	---	10mm~80mm
ツルツル	---	10mm~100mm
ムカデノリ属	---	10mm~50mm
マクサ	---	10mm~100mm
オコノリ属	---	50mm~200mm
カハノリ	---	30mm~70mm

調査年月日：平成26年 2月 6日

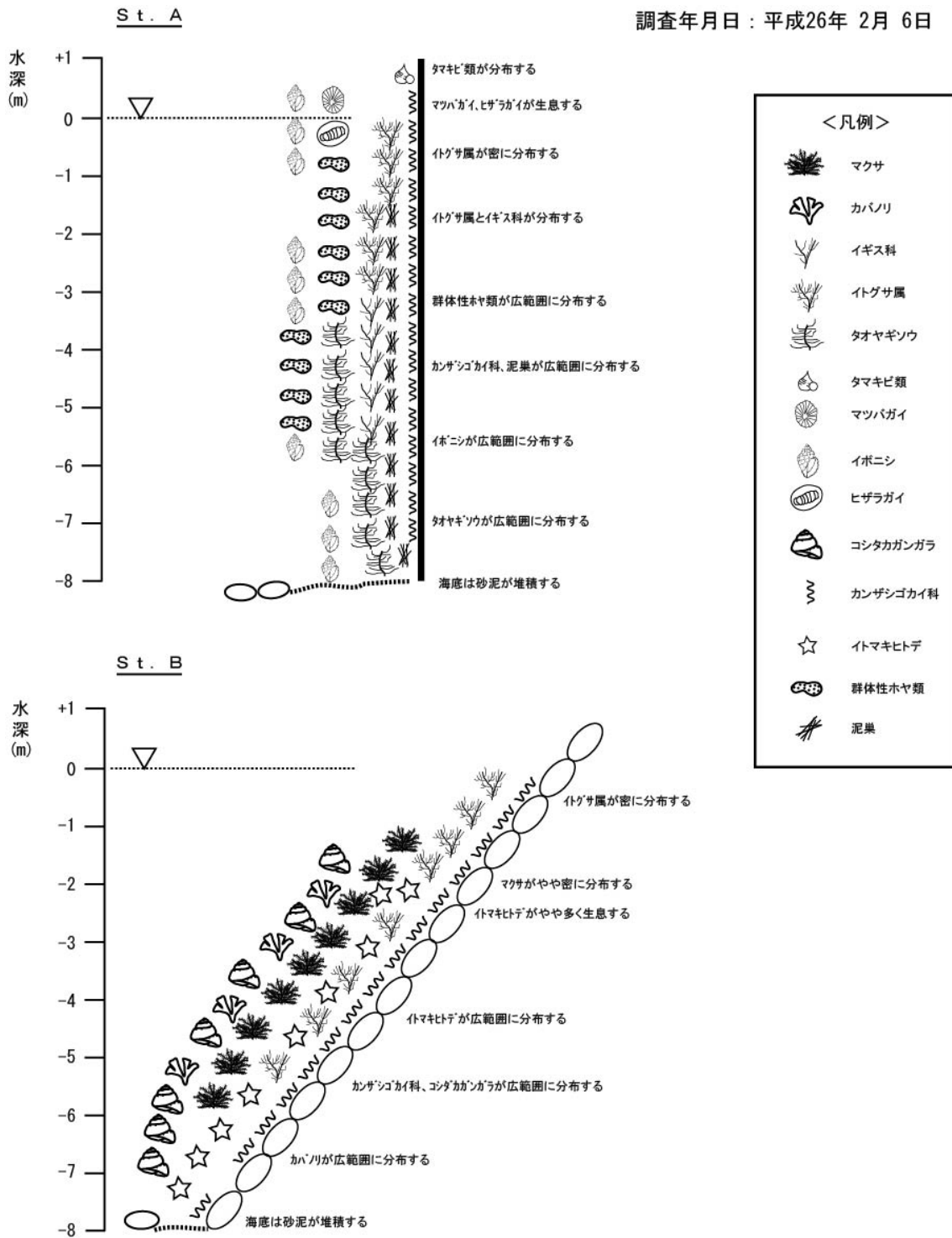


図 4 - 3 - 5 - 1 調査測点断面模式

水深(m)

【調査点B】

調査日:平成26年2月 6日

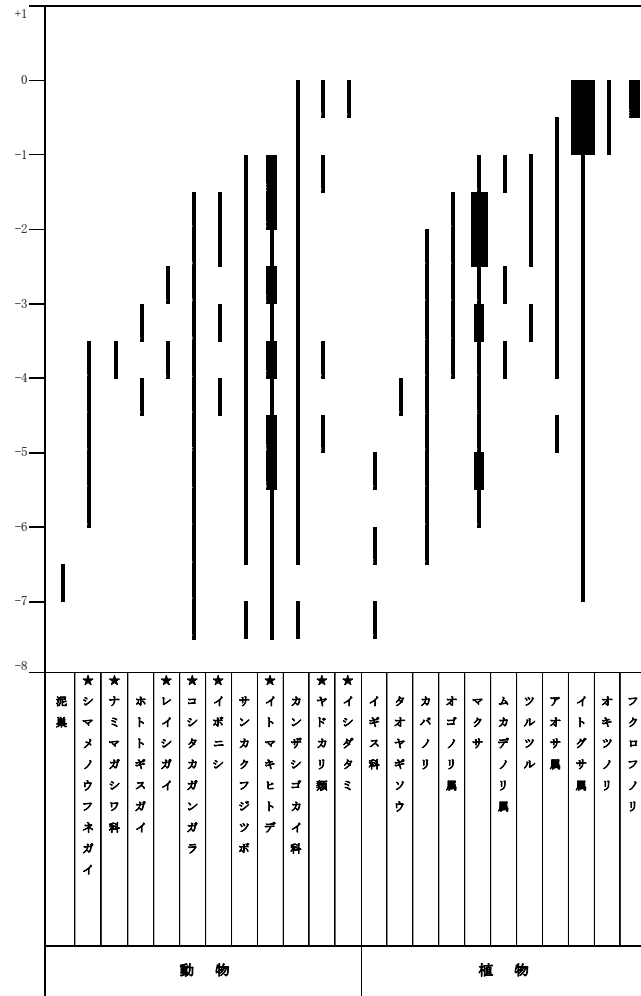


図4-3-5-2(2) 主な付着生物の鉛直分布

表4-3-5-3 付着生物調査結果概要(坪刈り：植物) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 6日

項目	調査点層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	緑藻植物門	1		1	1	2	2	3 (0 ~ 2)
	褐藻植物門			1				1 (0 ~ 1)
	紅藻植物門	4	3	2	3	6	6	11 (2 ~ 6)
	その他			1				1 (0 ~ 1)
	合計	5	3	5	4	8	8	16 (3 ~ 8)
湿重量 (g)	緑藻植物門	+		0.07	+	0.10	0.30	0.08 (+ ~ 0.30)
	褐藻植物門			+				0.00 (0.00 ~ +)
	紅藻植物門	2.54	27.69	6.83	26.55	226.61	67.93	59.69 (2.54 ~ 226.61)
	その他			0.17				0.03 (0.00 ~ 0.17)
	合計	2.54	27.69	7.07	26.55	226.71	68.23	59.80 (2.54 ~ 226.71)
組成重量 (%)	緑藻植物門	0.0		1.0	-	-	0.4	0.1 (0.0 ~ 1.0)
	褐藻植物門			-				- (0.0 ~ -)
	紅藻植物門	100.0	100.0	96.6	100.0	100.0	99.6	99.8 (96.6 ~ 100.0)
	その他			2.4				0.1 (0.0 ~ 2.4)
主要種湿重量 (カッコ内は組成比：%)	シヨウジ ^o ウケノリ	2.54(100.0)	シヨウジ ^o ウケノリ イダス属 3.74(13.5)	イダス属 6.83(96.6)	フクロフノリ 25.08(94.5)	シヨウジ ^o ウケノリ マクサ 36.42(53.4) 28.69(42.0)	シヨウジ ^o ウケノリ マクサ 44.11(73.8) 11.88(13.2)	

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 平均欄の種類数は総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。ただし、0.01g/0.09m²未満の場合は除く。
 4. 湿重量は0.09m²当たりで示す。湿重量の「+」は0.01g未満を示し、湿重量組成比欄の「-」は計算不能を示す。

表4-3-5-4 付着生物出現種一覧(坪刈り：植物) [平成25年度冬季分]

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva</i> sp.	アオサ属
2			シオケ ^ナ シ	シオケ ^ナ シ	<i>Cladophora</i> sp.	シオケ ^ナ シ属
3			ハネモ	ハネモ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネモ属
4	褐藻植物	褐藻	カヤモリ	カヤモリ	<i>Colpomenia sinuosa</i>	フクロノリ
5	紅藻植物	紅藻	ウシケノリ	ウシケノリ	<i>Porphyra</i> sp.	アマノリ属
6			テンク ^ナ シ	テンク ^ナ シ	<i>Gelidium elegans</i>	マクサ
7			スキ ^ノ リ	イソモッカ	<i>Caulacanthus ustulatus</i>	イソク ^ナ ンツウ
8				フリ	<i>Gloiopeltis furcata</i>	フクロフリ
9				スキ ^ノ リ	<i>Chondrus</i> sp.	ツノマク属
10				ムカデ ^ノ リ	<i>Grateloupia filicina</i>	ムカデ ^ノ リ
11					<i>Grateloupia turuturu</i>	ツルツル
12				オキツリ	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>	オキツリ
13				オコ ^ノ リ	<i>Gracilaria textorii</i>	カハ ^ノ リ
14				イキ ^ノ ス	<i>Ceramium</i> sp.	イキ ^ノ ス属
15			フジ ^ノ マツモ	<i>Polysiphonia senticulosa</i>	ショウジ ^ノ ヨウケリ	
16	黄色植物	珪藻	羽状	ナビ ^ノ クラ	Naviculaceae	ナビ ^ノ クラ科

表4-3-5-5 付着生物調査結果(坪刈り：植物：湿重量) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 6日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	<i>Ulva</i> sp.					+	0.10	0.30	0.40
2	<i>Cladophora</i> sp.						+		+
3	<i>Bryopsis</i> sp.		+		0.07				0.07
4	<i>Colpomenia sinuosa</i>				+				+
5	<i>Porphyra</i> sp.		+			0.02			0.02
6	<i>Gelidium elegans</i>			0.01	+		18.81	28.69	47.51
7	<i>Caulacanthus ustulatus</i>		+						+
8	<i>Gloiopeltis furcata</i>					25.08			25.08
9	<i>Chondrus</i> sp.						0.56		0.56
10	<i>Grateloupia filicina</i>						2.58	2.55	5.13
11	<i>Grateloupia turuturu</i>						3.28	0.13	3.41
12	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>						1.08	0.03	1.11
13	<i>Gracilaria textorii</i>							0.11	0.11
14	<i>Ceramium</i> sp.		+	3.74	6.83				10.57
15	<i>Polysiphonia senticulosa</i>		2.54	23.94		1.45	200.30	36.42	264.65
16	Naviculaceae				0.17				0.17
	種類数		5	3	5	4	8	8	16
	合計		2.54	27.69	7.07	26.55	226.71	68.23	358.79

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 「+」は0.01g未満を示す。
 3. 湿重量(g)は0.09m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²当たりで示す。

表4-3-5-6(1) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：個体数) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

項目	調査点 層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	8	6	14	3	8	11	27 (3 ~ 14)
	環形動物門	9	17	20	3	9	8	30 (3 ~ 20)
	節足動物門	4	11	14	5	8	7	22 (4 ~ 14)
	その他	8	11	15	2	6	4	18 (2 ~ 15)
	合計	29	45	63	13	31	30	97 (13 ~ 63)
個体数	軟体動物門	170	13	42	3	292	592	185 (3 ~ 592)
	環形動物門	355	3,502	2,486	3	80	302	1,121 (3 ~ 3,502)
	節足動物門	19	129	266	41	22	194	112 (19 ~ 266)
	その他	13	275	213	2	8	17	88 (2 ~ 275)
	合計	557	3,919	3,007	49	402	1,105	1,506 (49 ~ 3,919)
組成体比数 (%)	軟体動物門	30.5	0.3	1.4	6.1	72.6	53.6	12.3 (0.3 ~ 72.6)
	環形動物門	63.7	89.4	82.7	6.1	19.9	27.3	74.4 (6.1 ~ 89.4)
	節足動物門	3.4	3.3	8.8	83.7	5.5	17.6	7.4 (3.3 ~ 83.7)
	その他	2.3	7.0	7.1	4.1	2.0	1.5	5.8 (1.5 ~ 7.1)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	エゾカサネカンザシ	270(48.5)	トデカケリア属 1,307(33.4)	トデカケリア属 1,135(37.7)	シリケンウミセミ 19(38.8)	ウミウシ目 216(53.7)	ホトキスカイ 523(47.3)	トデカケリア属 407(27.0)
	カハタヒサラガイ	70(12.6)	エゾカサネカンザシ 1,257(32.1)	エゾカサネカンザシ 783(26.0)	ヒアレ属 17(34.7)	ホトキスカイ 63(15.7)	サンカクフジツボ 170(15.4) ミスヒキコカイ 155(14.0)	エゾカサネカンザシ 392(26.0)

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低潮面、下層は大潮最低潮面-1mを示す。
 2. 種類数の平均は総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 4. 個体数は0.09m²当たりで示す。

表4-3-5-6(2) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：湿重量) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

項目	調査点 層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
湿重量 (g)	軟体動物門	8.90	1.73	8.43	1.08	11.45	52.35	13.99 (1.08 ~ 52.35)
	環形動物門	4.73	20.73	15.78	+	0.41	4.59	7.71 (+ ~ 20.73)
	節足動物門	0.07	3.42	4.50	0.31	0.08	100.57	18.16 (0.07 ~ 100.57)
	その他	7.24	521.36	145.04	+	0.99	21.26	115.98 (+ ~ 521.36)
	合計	20.94	547.24	173.75	1.39	12.93	178.77	155.84 (1.39 ~ 547.24)
組成重量 (%)	軟体動物門	42.5	0.3	4.9	77.7	88.6	29.3	9.0 (0.3 ~ 88.6)
	環形動物門	22.6	3.8	9.1	+	3.2	2.6	4.9 (+ ~ 22.6)
	節足動物門	0.3	0.6	2.6	22.3	0.6	56.3	11.7 (0.3 ~ 56.3)
	その他	34.6	95.3	83.5	+	7.7	11.9	74.4 (+ ~ 95.3)
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)	イボニシ 6.83(32.6)	ホリクリニ科 489.91(89.5)	ホリクリニ科 89.17(51.3)	キノハナガイ 0.95(68.3)	コシタカカソカ 9.00(69.6)	サンカクフシツボ 100.07(56.0)	ホリクリニ科 97.03(62.2)	
	エゾカサネソウ 4.33(20.7)		普通海綿綱 26.48(15.2)	ホヤトカリ科 0.17(12.2)	イボニシ 1.96(15.2)	コシタカカソカ 22.97(12.8)	サンカクフシツボ 16.72(10.7)	
	普通海綿綱 3.46(16.5)					イマキヒトテ 21.18(11.8)		
	ホリクリニ科 3.09(14.8)							

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 湿重量は0.09m²当たりです。
 4. 湿重量が0.01g/0.09m²未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表4-3-5-7(1) 付着生物出現種一覧(坪刈り:動物) [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	海綿動物	石灰海綿			CALCAREA	石灰海綿綱
2		普通海綿			DEMOSPONGIAE	普通海綿綱
3	刺胞動物	花虫	イソギンチャク		ACTINIARIA	イソギンチャク目
4	扁形動物	ウスムシ	ヒラムシ		POLYCLADIDA	ヒラムシ目
5	紐形動物				NEMERTINEA	紐形動物門
6	軟体動物	ヒザラガイ	ヒザラガイ	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona defilippi</i>	ケハダヒザラガイ
7					<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>	ヒメケハダヒザラガイ
8					<i>Liolophura japonica</i>	ヒザラガイ
9		マキガイ	オキナエビス	ユキノカサガイ	<i>Patelloida pygmaea</i>	ヒメオキナエビス
10					<i>Collisella</i> sp.	
11				ニシキウスガイ	<i>Omphalius rusticus</i>	コシダカカシラ
12			ニナ	リソツホ	<i>Alvania concinna</i>	タマツホ
13				オニソツノガイ	<i>Bittium</i> sp.	チゼカニモリ属
14				カリバカサガイ	<i>Crepidula onyx</i>	シマメウツネガイ
15				ヘッコウタマガイ	Lamellariidae	ヘッコウタマガイ科
16			ハイ	アキキガイ	<i>Thais bronni</i>	レイシガイ
17					<i>Thais clavigera</i>	イホニシ
18				マモガイ	<i>Mitrella bicincta</i>	ムキガイ
19					<i>Zafra</i> sp.	
20			イトカケガイ	イトカケガイ	<i>Alexania inazawai</i>	イトサウハガイ
21				ミツクチキリオレガイ	Triphoridae	ミツクチキリオレガイ科
22			クチキレガイ	トウカクガイ	Pyramidellidae	トウカクガイ科
23			フトウガイ	タモコガイ	<i>Haloa japonica</i>	フトウガイ
24			ウミウシ		NUDIBRANCHIA	ウミウシ目
25			モリアラガイ	ユウダカマツガイ	<i>Siphonaria sirius</i>	キノノハガイ
26					egg of GASTROPODA	マキガイ綱の卵
27		ニマイガイ	イガイ	イガイ	<i>Musculista senhousia</i>	ホトキスガイ
28					<i>Musculus cupreus</i>	タマエガイ
29					<i>Mytilus edulis</i>	ムトサキガイ
30			ハマグリ	マルスタレガイ	<i>Irus</i> sp.	マツカセガイ属
31				イワホリガイ	Petricolidae	イワホリガイ科
32		頭足	八腕形	マダコ	Octopodidae	マダコ科
33	環形動物	コカイ	サンハコカイ	ウロコムシ	<i>Harmothoe</i> sp.	
34					<i>Halosydna brevisetosa</i>	ミロクウロコムシ
35					<i>Lepidonotus</i> sp.	
36				タンサクコカイ	Chrysopetalidae	タンサクコカイ科
37				サンハコカイ	<i>Eulalia</i> sp.	
38					<i>Eumida</i> sp.	
39					<i>Genetyllis</i> sp.	
40					Phyllodocidae	サンハコカイ科
41				オトヒメコカイ	<i>Ophiodromus</i> sp.	
42			シリス		Autolytinae	アウトリティス亜科
43					Syllinae	シリス亜科
44			コカイ		<i>Neanthes caudata</i>	ヒメコカイ
45					<i>Nereis heterocirrata</i>	ヒケフトコカイ
46					<i>Nereis multignatha</i>	
47					<i>Perinereis cultrifera</i>	クマトリコカイ
48					<i>Platynereis bicanaliculata</i>	ツルヒケコカイ
49			イソメ	イソメ	<i>Eunice</i> sp.	
50				ノリヨイソメ	Dorvilleidae	ノリヨイソメ科
51			スピオ	スピオ	<i>Polydora</i> sp.	
52			ミスヒキコカイ	ミスヒキコカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミスヒキコカイ
53					<i>Dodecaceria</i> sp.	
54			スピオ		<i>Tharyx</i> sp.	
55			イトコカイ	イトコカイ	<i>Capitella</i> sp.	
56			フサコカイ	フサコカイ	<i>Nicolea</i> sp.	
57					<i>Terebella</i> sp.	
58					Terebellidae	フサコカイ科
59			ケヤリ	ケヤリ	<i>Sabella</i> sp.	
60				カンサシコカイ	<i>Hydroides ezoensis</i>	エゾカンサシ
61					<i>Pomatoleios krausii</i>	ヤッコカンサシ
62					Serpulidae	カンサシコカイ科

表4-3-5-7(2) 付着生物出現種一覧(坪刈り：動物) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
63	節足動物	ウミクモ			PYCNOGONIDA	ウミクモ綱
64		甲殻	フジツボ	フジツボ	<i>Balanus trigonus</i>	フジツボ
65			タナイス	タナイス	<i>Anatanaïs normani</i>	ノルマンタナイス
66			ワラジムシ	ウミナナフシ	Paranthuridae	ウミナナフシ科
67				ウミミスムシ	Janiridae	ウミミスムシ科
68				コツブムシ	<i>Dynoides dentisinus</i>	シロケウミセミ
69			ヨコエビ	ヒゲナガヨコエビ	<i>Ampithoe</i> sp.	
70				ユンボソコエビ	Aoridae	ユンボソコエビ科
71				タテソコエビ	<i>Stenothoe</i> sp.	
72				モクスヨコエビ	<i>Hyale</i> sp.	
73				アコナガヨコエビ	<i>Pontogeneia rostrata</i>	アコナガヨコエビ
74				メリタヨコエビ	<i>Elasmopus japonicus</i>	イソヨコエビ
75				エンマヨコエビ	<i>Paradexamine</i> sp.	
76				ワレカラ	<i>Caprella penantis</i>	マルエワレカラ
77			エビ	ホンヤトカリ	Paguridae	ホンヤトカリ科
78				オウキカニ	<i>Pilumnus minutus</i>	ヒメケブカニ
79					<i>Sphaerozius nitidus</i>	スベスベオウキカニ
80					Xanthidae	オウキカニ科
81				イワカニ	<i>Gaetice depressus</i>	ヒライワカニ
82				カイカムリ	Dromiidae	カイカムリ科
83				クモカニ	<i>Pyromma tuberculata</i>	イッカククモカニ
84					<i>Pugettia quadridens quadridens</i>	ヨウバモカニ
85	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.	
86		コケムシ	フタコケムシ	アミメコケムシ	Membraniporidae	アミメコケムシ科
87				フサコケムシ	Bugulidae	フサコケムシ科
88				ヒラコケムシ	Schizoporellidae	ヒラコケムシ科
89				コブコケムシ	Celleporinidae	コブコケムシ科
90	棘皮動物	ヒトデ	トゲヒトデ	アステリナ	<i>Asterina pectinifera</i>	イトマキヒトデ
91		クモヒトデ			OPHIUROIDEA	クモヒトデ綱
92	原索動物	ホヤ	ヒメホヤ	ホリクリニ	Polyclinidae	ホリクリニ科
93			マホヤ	ホトリルス	Botryllidae	ホトリルス科
94				スチエラ	Styelidae	スチエラ科
95				ヒウラ	Pyuridae	ヒウラ科
96					ASCIDIACEA (colony)	ホヤ綱(群体性)
97	脊椎動物	硬骨魚	スギ	イソギンボ	<i>Pictiblennius yatabei</i>	イソギンボ

表4-3-5-8(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	CALCAREA				*			*	
2	DEMOSPONGIAE		*	*	*			*	
3	ACTINIARIA		1		2			3	
4	POLYCLADIDA		5	45	12		2	69	
5	NEMERTINEA		4	18	24	1	1	51	
6	<i>Acanthochitona defilippi</i>		70					70	
7	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		18	2				20	
8	<i>Liolophura japonica</i>		51					51	
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		2					2	
10	<i>Collisella</i> sp.					1		1	
11	<i>Omphalius rusticus</i>						4	2	6
12	<i>Alvania concinna</i>						2	4	6
13	<i>Bittium</i> sp.		14		3				17
14	<i>Crepidula onyx</i>			2	8				10
15	Lamellariidae			1					1
16	<i>Thais bronni</i>				4			3	7
17	<i>Thais clavigera</i>		13	1	3		3	1	21
18	<i>Mitrella bicincta</i>				10			14	24
19	<i>Zafra</i> sp.				4				4
20	<i>Alexania inazawai</i>				1				1
21	Triphoridae				1				1
22	Pyramidellidae							1	1
23	<i>Haloa japonica</i>			2				3	5
24	NUDIBRANCHIA				1		216		217
25	<i>Siphonaria sirius</i>					1			1
26	egg of GASTROPODA				*				*
27	<i>Musculista senhousia</i>					1	63	523	587
28	<i>Musculus cupreus</i>		1	5	4		2		12
29	<i>Mytilus edulis</i>				1		1	1	3
30	<i>Irus</i> sp.							8	8
31	Petricolidae		1		1		1	32	35
32	Octopodidae				1				1
33	<i>Harmothoe</i> sp.				8		13	18	39
34	<i>Halosydna brevisetosa</i>		1	13	7				21
35	<i>Lepidonotus</i> sp.		27	3					30
36	Chrysopetalidae			16					16
37	<i>Eulalia</i> sp.		17	8			3		28
38	<i>Eumida</i> sp.							1	1
39	<i>Genetyllis</i> sp.		2						2
40	Phyllodocidae			16	1				17
41	<i>Ophiodromus</i> sp.		2	200	90	1	7	30	330
42	Autolytinae			8	43				51
43	Syllinae		18	383	241		12	2	656
44	<i>Neanthes caudata</i>				4				4
45	<i>Nereis heterocirrata</i>					1			1
46	<i>Nereis multignatha</i>			1	4		1		6
47	<i>Perinereis cultrifera</i>		2	16	4				22
48	<i>Platynereis bicanaliculata</i>				1				1
49	<i>Eunice</i> sp.				1				1
50	Dorvilleidae							4	4
51	<i>Polydora</i> sp.			92	28				120
52	<i>Cirriformia tentaculata</i>			2	4		2	155	163
53	<i>Dodecaceria</i> sp.			1,307	1,135	1			2,443
54	<i>Tharyx</i> sp.						1		1
55	<i>Capitella</i> sp.						2	88	90
56	<i>Nicolea</i> sp.				1				1
57	<i>Terebella</i> sp.			8	17				25
58	Terebellidae			34	56				90
59	<i>Sabella</i> sp.			138	57				195
60	<i>Hydroides ezoensis</i>		270	1,257	783		39	4	2,353
61	<i>Pomatoleios krausii</i>		16						16
62	Serpulidae				1				1

注：1. 「*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数は0.09m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²当たりで示す。

表4-3-5-8(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
63	PYCNOGONIDA			12	1				13
64	<i>Balanus trigonus</i>				8			170	178
65	<i>Anatanaïs normani</i>		1		2		2	11	16
66	Paranthuridae				1	3	11	3	18
67	Janiridae		1	14	48				63
68	<i>Dynoides dentisinus</i>		15			19			34
69	<i>Ampithoe</i> sp.						3		3
70	Aoridae			5	26			1	32
71	<i>Stenothoe</i> sp.				5				5
72	<i>Hyale</i> sp.		2	2	1	17	1		23
73	<i>Pontogeneia rostrata</i>						1		1
74	<i>Elasmopus japonicus</i>			12	6		1		19
75	<i>Paradexamine</i> sp.						1	1	2
76	<i>Caprella penantis</i>			43		1			44
77	Paguridae					1	2	3	6
78	<i>Pilumnus minutus</i>			18	153				171
79	<i>Sphaerozoides nitidus</i>			11	10				21
80	Xanthidae			2	2				4
81	<i>Gaetice depressus</i>							5	5
82	Dromiidae			8					8
83	<i>Pyromaia tuberculata</i>				2				2
84	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			2	1				3
85	<i>Phoronis</i> sp.				1		1		2
86	Membraniporidae		*						*
87	Bugulidae			*	*				*
88	Schizoporellidae						*		*
89	Celleporinidae			*	*				*
90	<i>Asterina pectinifera</i>						1	9	10
91	OPHIUROIDEA		1	148	131	1	3	*	284
92	Polyclinidae		*	*	*				*
93	Botryllidae			*	*				*
94	Styelidae		2	53	32				87
95	Pyuridae			10	9				19
96	ASCIDIACEA (colony)				*				*
97	<i>Pictiblennius yatabei</i>			1	2				3
	種類数		29	45	63	13	31	30	97
	合計		557	3,919	3,007	49	402	1,105	9,039

注： 1. 「*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数は0.09m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²当たりで示す。

表4-3-5-9(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	CALCAREA				+				+
2	DEMOSPONGIAE		3.46	1.85	26.48				31.79
3	ACTINIARIA		0.10		0.62				0.72
4	POLYCLADIDA		0.03	0.72	0.08		+	0.05	0.88
5	NEMERTINEA		0.01	0.03	0.04	+	+	0.03	0.11
6	<i>Acanthochitona defilippi</i>		1.68						1.68
7	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		0.07	0.03					0.10
8	<i>Liolophura japonica</i>		0.27						0.27
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		0.02						0.02
10	<i>Collisella</i> sp.					0.13			0.13
11	<i>Omphalius rusticus</i>						9.00	22.97	31.97
12	<i>Alvania concinna</i>						+	+	+
13	<i>Bittium</i> sp.		0.02		+				0.02
14	<i>Crepidula onyx</i>			+	0.02				0.02
15	Lamellariidae			0.43					0.43
16	<i>Thais bronni</i>				4.68			16.93	21.61
17	<i>Thais clavigera</i>		6.83	0.91	2.21		1.96	0.85	12.76
18	<i>Mitrella bicincta</i>				1.00			1.96	2.96
19	<i>Zafra</i> sp.				0.01				0.01
20	<i>Alexania inazawai</i>				+				+
21	Triphoridae				+				+
22	Pyramidellidae							+	+
23	<i>Haloa japonica</i>			0.02				0.43	0.45
24	NUDIBRANCHIA				0.02		0.30		0.32
25	<i>Siphonaria sirius</i>					0.95			0.95
26	egg of GASTROPODA				0.03				0.03
27	<i>Musculista senhousia</i>					+	0.19	5.24	5.43
28	<i>Musculus cupreus</i>		0.01	0.34	0.09		+		0.44
29	<i>Mytilus edulis</i>				+		+	+	+
30	<i>Irus</i> sp.							1.82	1.82
31	Petricolidae		+		0.14		+	2.15	2.29
32	Octopodidae				0.23				0.23
33	<i>Harmothoe</i> sp.				0.04		0.14	0.35	0.53
34	<i>Halosydna brevisetosa</i>		0.05	0.49	0.26				0.80
35	<i>Lepidonotus</i> sp.		0.06	+					0.06
36	Chrysopetalidae			0.02					0.02
37	<i>Eulalia</i> sp.		0.06	+			+		0.06
38	<i>Eumida</i> sp.							0.01	0.01
39	<i>Genetyllis</i> sp.		+						+
40	Phyllodocidae			0.42	0.03				0.45
41	<i>Ophiodromus</i> sp.		+	0.47	0.10	+	+	0.18	0.75
42	Autolytinae			0.02	0.08				0.10
43	Syllinae		0.13	1.82	1.43		0.04	0.02	3.44
44	<i>Neanthes caudata</i>				+				+
45	<i>Nereis heterocirrata</i>					+			+
46	<i>Nereis multignatha</i>			+	+		+		+
47	<i>Perinereis cultrifera</i>		+	0.02	+				0.02
48	<i>Platynereis bicanaliculata</i>				0.01				0.01
49	<i>Eunice</i> sp.				0.03				0.03
50	Dorvilleidae							+	+
51	<i>Polydora</i> sp.			0.09	0.03				0.12
52	<i>Cirriformia tentaculata</i>			0.11	0.06		0.07	3.83	4.07
53	<i>Dodecaceria</i> sp.			2.08	3.93	+			6.01
54	<i>Tharyx</i> sp.						+		+
55	<i>Capitella</i> sp.						+	0.17	0.17
56	<i>Nicolea</i> sp.				0.19				0.19
57	<i>Terebella</i> sp.			0.06	0.18				0.24
58	Terebellidae			0.62	0.89				1.51
59	<i>Sabella</i> sp.			2.36	0.28				2.64
60	<i>Hydroides zwoensis</i>		4.33	12.15	8.20		0.16	0.03	24.87
61	<i>Pomatoleios krausii</i>		0.10						0.10
62	Serpulidae				0.04				0.04

注：1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量は0.09m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²当たりで示す。

表4-3-5-9(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月6日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
63	PYCNOGONIDA			0.08	+				0.08
64	<i>Balanus trigonus</i>				0.24			100.07	100.31
65	<i>Anatanaïs normani</i>		+		+		+	+	+
66	Paranthuridae				+		0.02	+	0.02
67	Janiridae		+	0.01	0.02				0.03
68	<i>Dynoides dentisinus</i>		0.06			0.07			0.13
69	<i>Ampithoe</i> sp.						+		+
70	Aoridae			+	+			+	+
71	<i>Stenothoe</i> sp.				+				+
72	<i>Hyale</i> sp.		0.01	+	+	0.07	+		0.08
73	<i>Pontogeneia rostrata</i>						+		+
74	<i>Elasmopus japonicus</i>			0.02	0.01		+		0.03
75	<i>Paradexamine</i> sp.						+	+	+
76	<i>Caprella penantis</i>			0.14			+		0.14
77	Paguridae					0.17	0.06	0.38	0.61
78	<i>Pilumnus minutus</i>			0.09	2.97				3.06
79	<i>Sphaerozoides nitidus</i>			0.48	0.66				1.14
80	Xanthidae			0.05	0.02				0.07
81	<i>Gaetice depressus</i>							0.12	0.12
82	Dromiidae			0.10					0.10
83	<i>Pyromaia tuberculata</i>				+				+
84	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			2.45	0.58				3.03
85	<i>Phoronis</i> sp.				+		+		+
86	Membraniporidae		0.35						0.35
87	Bugulidae			0.16	4.29				4.45
88	Schizoporellidae						+		+
89	Celleporinidae			0.70	0.95				1.65
90	<i>Asterina pectinifera</i>						0.99	21.18	22.17
91	OPHIUROIDEA		+	0.40	0.14	+	+	+	0.54
92	Polyclinidae		3.09	489.91	89.17				582.17
93	Botryllidae			11.12	14.71				25.83
94	Styelidae		0.20	4.44	3.95				8.59
95	Pyuridae			11.86	4.12				15.98
96	ASCIDIACEA (colony)				0.27				0.27
97	<i>Pictiblennius yatabei</i>			0.17	0.22				0.39
	種類数		29	45	63	13	31	30	97
	合計		20.94	547.24	173.75	1.39	12.93	178.77	935.02

注： 1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量は0.09m²当たりで示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²当たりで示す。

表4-3-6-1 漁獲対象動植物調査結果概要(刺し網) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年2月5～6日

項目	調査点	イ
種類数	魚類	8
	甲殻類	2
	頭足類	0
	その他	0
	合計	10
個体数	魚類	26
	甲殻類	2
	頭足類	0
	その他	0
	合計	28
湿重量(g)	魚類	3,646.3
	甲殻類	71.1
	頭足類	0.0
	その他	0.0
	合計	3,717.4

注：個体数、湿重量は1網当たりで示す。

表 4-3-6-2 漁獲対象動植物調査結果(刺し網：主要種) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年2月5～6日

項目		調査点	イ
主	個体数	魚類	シログチ (50.0) カタクチイワシ (15.4) イヌノシタ (11.5) シロギス (7.7)
		甲殻類	イシガニ (50.0) シャコ (50.0)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	
要	湿重量 (g)	魚類	シログチ (66.7) イヌノシタ (19.4) メイタガレイ (5.2)
		甲殻類	イシガニ (87.9) シャコ (12.1)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	
種			

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種（ただし組成比5%以上のもの）を示す。

表 4 - 3 - 6 - 3 漁獲対象動植物調査結果(刺し網) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年2月5～6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量(g)
1	節足動物	甲殻	エビ	リクガニ	<i>Charybdis japonica</i>	イガニ	1	62.5
2			シヤコ	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>	シヤコ	1	8.6
3	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ	1	68.8
4				カタチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタチイワシ	4	14.8
5			ススキ	キス	<i>Sillago japonica</i>	シロキス	2	88.0
6				アジ	<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ	1	33.1
7				ニベ	<i>Argyrosomus argentatus</i>	シロギチ	13	2431.6
8			カレイ	カレイ	<i>Pleuronichthys cornutus</i>	メイカレイ	1	189.3
9					<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコレイ	1	113.7
10				ウシノシタ	<i>Cynoglossus robustus</i>	イヌノシタ	3	707.0
合計							28	3717.4

注：個体数、湿重量は1網当たりで示す。

表 4-3-6-4 漁獲対象動植物調査結果概要(底引網) [平成 25 年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 6日

項 目	調査点	イ
種 類 数	魚 類	6
	甲 殻 類	9
	頭 足 類	1
	そ の 他	0
	合 計	16
個 体 数	魚 類	32
	甲 殻 類	40
	頭 足 類	1
	そ の 他	0
	合 計	73
湿 重 量 (g)	魚 類	1,982.3
	甲 殻 類	640.3
	頭 足 類	196.1
	そ の 他	0.0
	合 計	2,818.7

注：個体数、湿重量は1網当たりで示す。

表4-3-6-5 漁獲対象動植物調査結果(底引網:主要種) [平成25年度冬季分]

調査年月日:平成26年 2月 6日

項目		調査点	イ
主	個体数	魚類	アカシタビラメ (62.5) ハタタテヌメリ (12.5) イヌノシタ (12.5) マコガレイ (6.3)
		甲殻類	ヘリトリコブシ (25.0) フタホシイシガニ (25.0) ヒメガザミ (12.5) イシガニ (10.0) ガザミ (10.0)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	コウイカ (100.0)
要	湿重量 (g)	魚類	アカシタビラメ (53.3) イヌノシタ (33.7) メイタガレイ (6.1) マコガレイ (6.1)
		甲殻類	ガザミ (64.3) イシガニ (26.8)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	コウイカ (100.0)

注:1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種(ただし組成比5%以上のもの)を示す。

表4-3-6-6 漁獲対象動植物調査結果(底引網) [平成25年度冬季分]

調査年月日：平成26年 2月 6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量(g)		
1	軟体動物	イ	コウイ	コウイ	<i>Sepia esculenta</i>	コウイ	1	196.1		
2	節足動物	甲殻	エビ	クルマエビ	<i>Trachypenaeus curvirostris</i>	クルマエビ	2	7.3		
3					<i>Metapenaeopsis acclivis</i>	トラエビ	2	1.6		
4				ヘイカガニ	<i>Dorippe frascone</i>	キムカガニ	2	15.3		
5				コブシカガニ	<i>Philyra heterograna</i>	ハリトリコブシ	10	11.0		
6				ワタリカガニ	<i>Charybdis bimaculata</i>	ワタホシイカガニ	10	15.7		
7					<i>Charybdis japonica</i>	イカガニ	4	171.5		
8					<i>Portunus hastatoides</i>	ヒメカガサミ	5	5.2		
9					<i>Portunus trituberculatus</i>	カガサミ	4	411.6		
10					シヤコ	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>	シヤコ	1	1.1
11				脊椎動物	硬骨魚	ニシ	カタクチイソ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイソ	1
12	カハウオ	ネスッポ	<i>Repomucenus valencienni</i>				ハタテヌメリ	4	13.9	
13	カレイ	カレイ	<i>Pleuronichthys cornutus</i>			メイカレイ	1	121.9		
14			<i>Pleuronectes yokohamae</i>			マカレイ	2	120.0		
15		ウシノシタ	<i>Cynoglossus joyneri</i>			アサシタヒラメ	20	1056.5		
16						<i>Cynoglossus robustus</i>	イヌノシタ	4	667.6	
合計							73	2818.7		

注：個体数、湿重量は1網当たりで示す。